

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

新潟県 村上市

自治体名：新潟県村上市

担当課名：教育委員会学校教育課

電話番号：0254-72-6882

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	1,174.17 km ²
人口	53,359 人
公立中学校数	7 校
公立中学校生徒数	1,008 人
部活動数	52 部活 (運動部40) (文化部12)
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、当市の運動部活動は、陸上競技部、サッカー部、バレーボール部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、ソフトテニス部、バドミントン部、卓球部、野球部、柔道部、剣道部の11種目の部活動が活動している。

少子化に伴い、単独校での大会出場が難しい部活動もあり、複数校により合同部活動も活動している。

令和6年度現在20の地域クラブ活動を立ち上げ、休日のみならず、平日も活動している。

改革推進期間である令和7年度をもって学校

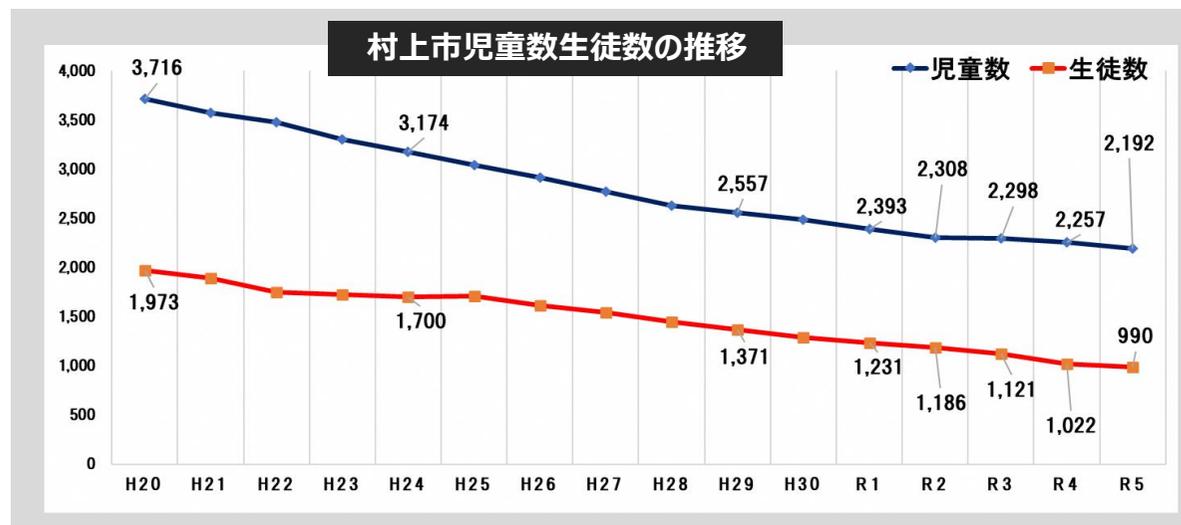
部活動の平日も含めた地域への完全移行を目指している。

そのため、学校の教職員以外の指導者の掘り起こし、地域クラブ活動参加への移動手段の確保を進めている状況です。

また、指導者育成プログラム研修会による、指導者の質の確保にも努めている。

【課題】

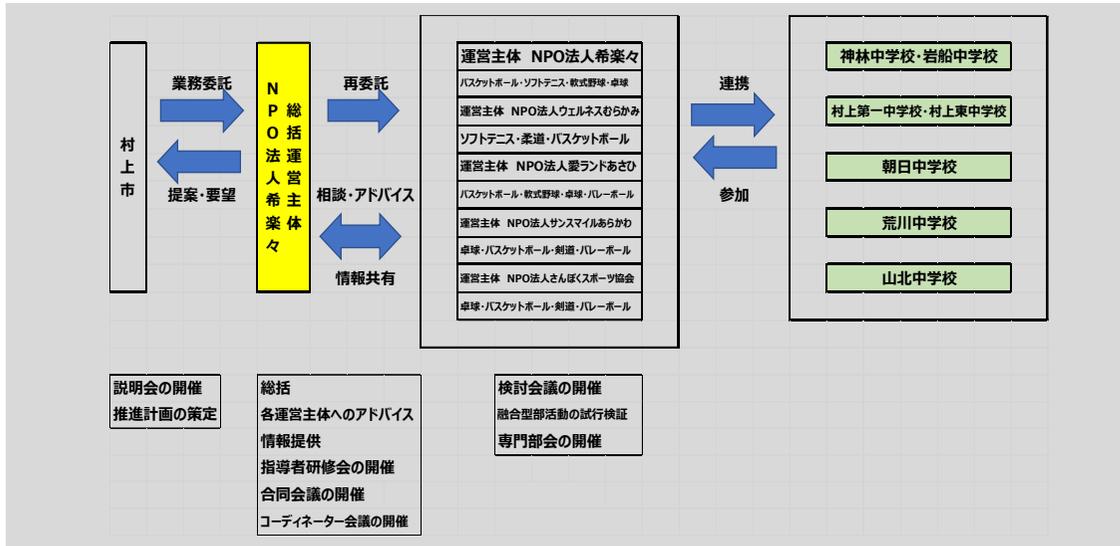
現在の村上市の出生数を鑑みると、今後減少傾向はますます進むことが想定される。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・学校教育課…部活動改革の主幹、総括運営主体との調整、実証事業事務処理
- ・生涯学習課…学校教育課と連携

◎首長部局

- ・財政課…予算措置

年間の事業スケジュール

令和6年4月	第1回コーディネーター会議
令和6年5月	指導者育成プログラム研修会（前期）
令和6年6月	市職員説明会
令和6年7月	第2回コーディネーター会議
令和6年7月	部活動地域移行行政担当者会議
令和6年10月	第1回市部活動地域移行合同会議
令和6年10月	指導者育成プログラム研修会（後期）
令和6年10月	村上市岩船郡教育委員情報交換会
令和6年10月	神林岩船中学校区運営協議会
令和6年11月	第3回コーディネーター会議
令和6年12月	保護者説明会（ソフトテニス）
令和7年1月	保護者説明会（陸上）
令和7年3月	第4回コーディネーター会議
令和7年3月	第2回市部活動地域移行合同会議

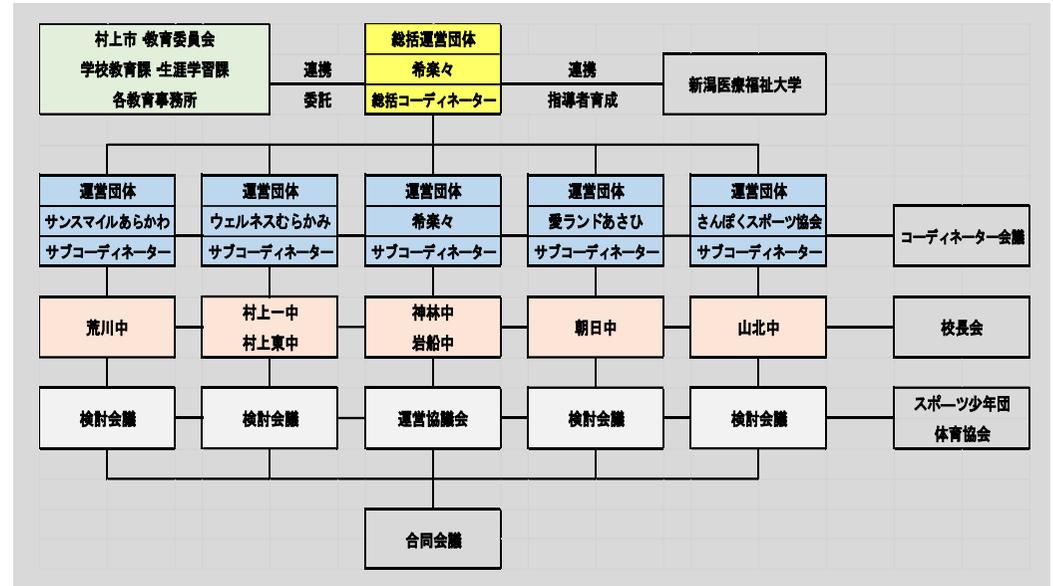
主な取組例

●活動概要

令和3年度に右図推進体制を総括コーディネーターから提案
令和4年度からこの体制を実施

- (1) 総括運営団体、総括コーディネーターの配置
- (2) 各地区に運営団体、サブコーディネーターの配置
- (3) 各地区で「融合型部活動」の実践
- (4) コーディネーター会議（総括運営団体主催）で情報共有と今後についての合意形成
- (5) 市全体の合同会議や種目別ワークショップ（総括運営団体主催）で、各地区の取組状況や今後の方針や各種目ごとの今後のカタチについて意見交換
- (6) 適時、市校長会での情報提供
- (7) 指導者の資質向上については新潟医療福祉大学と連携し、指導者育成プログラム研修会（総括運営団体主催）の開催
- (8) 村上市教育委員会からNPO法人希楽々に事業委託
- (9) 学校教育課・生涯学習課・教育事務所とは連携し、コーディネーター会議や合同会議において情報共有

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



役割について

- (1) 総括運営団体
：当事業について受託、各地区の活動状況について把握、とりまとめ
- (2) 総括コーディネーター
：市全体の総括管理、各運営団体へのアドバイス
合同会議やコーディネーターの開催、指導者育成プログラムの計画
各自治体等の視察対応
- (3) 運営団体、サブコーディネーター
：各地区の融合型部活動の実践

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること【融合型部活動の状況】

運営団体	実施主体	チーム名	種目	活動場所	活動日 下段 時間							参加者数			学校別										指導者数			参加費				
					月	火	水	木	金	土	日	男	女	計	村一	村東	神林	岩船	朝日	荒川	山北	中等	市外	小学生	地域	非地域	計					
NPO 法人 希楽々	スポーツ少年団	Hangout	バスケットボール	神林総合体育館 神林中学校	○		○			○			38	2	40	1	13	13	3						2	8		6	2	8	3,000円/月 1回500円	
		KSTC	ソフトテニス	荒川グリーンパーク 平林体育館 神林総合体育館	○			○	○	○			8	4	12			10	1									1	4	1	5	3,000円/月 1回500円
		NEXUS	軟式野球	神林中学校 神林多目的グラウンド 平林体育館	○				○	○			15	1	16			16											3	2	5	3,000円/月 1回500円
	NPO 法人 希楽々	神林TTC	卓球	神林総合体育館 神林中学校						○			10	3	13			13										3	2	5	1回200円	
	スポーツ少年団	challengers村上 M V C	バレーボール	神林総合体育館 神林中学校 平林・神納小学校				○		○			0	21	21			21										1	2	3	1回200円	
村上市 陸上競技協会	M a A C	陸上	神林多目的グラウンド 神林総合体育館						○			20	6	26	15		2			1	2					6	15	2	17	1回200円		
NPO 法人 ウェルネスむらかみ	スポーツ少年団	エイムハイ村上	ソフトテニス	村上東中学校 村上体育館						○		10	12	22	8	14												7	1	8	500円/月	
		村上市柔道教室	柔道	村上東中学校						○			13	5	18	5	13												4		4	500円/月
	NPO 法人 ウェルネスむらかみ	村上RED HAWKS	バスケットボール 男子	村上第一中学校		○	○		○	○			17	0	17	15									2				2		2	1,000円/月
		村上Lachs FC	サッカー	村上東中学校							○		13	0	13	12					1								4		4	500円/月
		村上Lachs BC	バスケットボール 女子	村上東中学校							○				0																	500円/月
NPO 法人 サンスマイルあらかわ	NPO 法人 サンスマイルあらかわ	卓球	卓球	荒川総合体育館	○	○		○	○	○		12	9	21						21								2		2	2,000円/月	
		バレーボール	バレーボール	荒川中学校				○		○			0	18	18					18								4		4	500円/月	
		サンスマイルBC	バドミントン	荒川総合体育館		○	○			○			5	5	10			1		1	7				2			8		8	1,000円/月	
		荒川ジュニアクラブ U 15	バスケットボール	荒川中学校		○				○			11	9	20		1			3	8		2	5	1	7			7		7	500円/月
NPO 法人 愛ランドあさひ	NPO 法人 愛ランドあさひ	バレーボール	バレーボール	朝日総合体育館 朝日中学校		○			○	○		0	10	10					10									3		3	1,000円/月	
		Asahi Max's U 15	バスケットボール	朝日総合体育館 朝日中学校 朝日みどり小学校		○	○	○	○	○			15	0	15					9							6	4		4	2,000円/月	
		野球部	野球	朝日中学校					○	○			12	0	12					12								2	1	3	500円/月	
		女子バスケットボール	バスケットボール	朝日中学校		○		○		○			0	9	9					4								5	2	2	100円/回	
NPO 法人 悠遊さんぼく	NPO 法人 悠遊さんぼく	卓球	卓球	山北総合体育館 山北中学校	○	○			○	○		10	1	11					18								7		7	1,000円/月		

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②神林中・岩船中学区の「融合型部活動」の状況

融合型名	種目名	活動日	参加費	指導者	備考
Hangout	バスケットボール	月・水曜日 土曜日	3,000円/月	8名 兼職兼業2名含	中体連参加
KSTC	ソフトテニス	月・水・金曜日 土曜日	3,000円/月	6名 兼職兼業2名含	中体連参加
NEXUS	軟式野球	月・金曜日 土曜日	3,000円/月	5名 兼職兼業2名含	中体連参加
神林TTC	卓球	土曜日	200円/回	6名 兼職兼業1名含	
challengers村上 MVC	バレーボール	木曜日 土曜日	200円/回	2名 兼職兼業1名含	
村上アスレックアドバンスクラブ MaAC	陸上	土曜日	200円/回	12名	市全地区

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

(1) 合同会議の開催

市全体の情報提供・共有を目的として国や県、市の方向性を説明するとともに、市全体の取組、各地区の取組について報告。
また種目別ワークショップを行い、種目ごとに今後について話し合う。

(2) コーディネーター会議の開催

最新情報の提供、運営団体としての合意形成、各地区の情報共有、課題の抽出と解決策の検討を行う。

取組の成果

(1) 各地区で融合型部活動が増え、平日及び休日の活動が行われた。種目数、活動日時、参加費等統一化は図られていないが、種目別ワークショップを開催し、種目の拠点化が動き始めた。(ソフトテニス)

(2) コーディネーター会議において、現状の共有及び今後の取組において合意形成を図った。各運営団体で種目を担当し、今後の活動について検討会議を行った。

(3) 総括コーディネーターが今後の進め方等について、各コーディネーターの相談に応じた。

(4) 令和8年度以降のカたちについて考える令和7年度としたい旨について各コーディネーターに理解してもらった。

総括コーディネーターの具体的な動きの実績

- (1) 年2回の合同会議における提供内容や方針提案のタイミング等について適時の判断をしながら計画をした。
- (2) 今後のカたちについて、コーディネーター会議における各運営団体との合意形成や、合同会議における種目ごとのWSで検討、推進する機会の創出

今後の課題と対応方針

令和8年から市内中学校の運動部活動が地域へ完全移行となるため、8年度以降のカたちについて方向性を出さなければならない。各運営団体や指導者の温度差もあり、できるものとできないものがある中で先行する種目については情報提供しながら、未確定の種目については意見交換しながら進めていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

(1) 指導者育成プログラム研修会の開催

- ・公認資格の有無、教員免許の有無に関係なく、「融合型部活動」に関わる指導者等は運営団体であるNPO法人希楽々主催（市教育委員会共催の【指導者育成プログラム研修会】の受講を義務化。運営団体で受講票を発行。
- ・年8回開催（前期4回、後期4回）右図のとおり初級、中級、ブロンズ、シルバー、ゴールド から8科目

(2) スポーツ少年団と融合型部活動の同時開催

回	開催日	曜日	資格	科目名	内容	形態
1	5/9	木	コーチⅠ 初級編	地域スポーツ論	地域スポーツ指導者の役割	講義
2	5/14	火	シルバー 認定指導者	体カトレーニング論Ⅱ	トレーニングの種類と進め方 コンディショニング	講義 演習
3	5/17	金	コーチⅠ 初級編	スポーツ教育指導法Ⅰ	スポーツの種目特性	講義
4	5/21	火	ゴールド 認定指導者	コーチングⅣ	コーチング環境・対他者等	講義 演習
5	10/10	木	ゴールド 認定指導者	スポーツ心理学Ⅲ	メンタルトレーニング	講義 演習
6	10/17	木	ゴールド 認定指導者	対象に合わせた指導	発育発達に合わせた指導 中高年・女性とスポーツ	講義
7	10/22	火	ゴールド 認定指導者	運動学	運動スキルの獲得方法	講義 演習
8	10/29	火	ゴールド 認定指導者	スポーツと法	スポーツ事故における指導者の 法的責任	講義

取組の成果

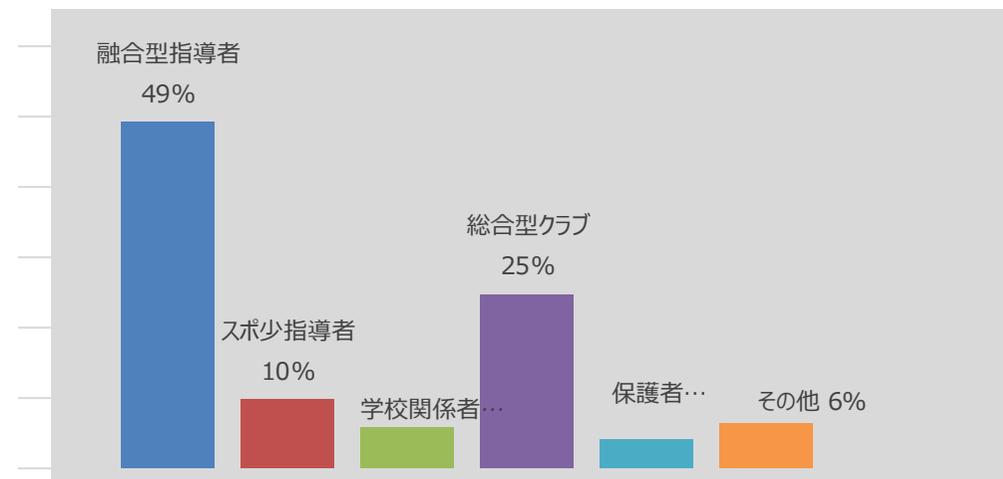
(1) 指導者育成プログラム研修会について

- ・延参加者数は333名
- ・融合型部活動指導者、教員、総合型クラブ職員、スポ少指導者、外部指導者、スポーツ推進委員、保護者が受講した。

(2) スポーツ少年団と融合型部活動の同時開催

- ・2種目（バスケットボール、ソフトテニス）について、スポ少と融合型部活動の同時活動を行い、指導体制を整備し、多様なニーズに対応することができた。
- 令和7年度から、スポーツ少年団は総合型クラブと組織統合し、総合型クラブの中でジュニア部門として活動することとなった。

受講者内訳



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の参加実績

令和6年度指導者育成プログラム研修会申込者名簿	ゴールド 認定指導者					シルバー 認定指導者							
	5/9	5/14	5/17	5/21	10/10	10/22	10/29	5/9	5/14	5/17	10/10	10/22	10/29
1 所属													
2 所属													
3 所属													
4 所属													
5 所属													
6 所属													
7 所属													
8 所属													
9 所属													
10 所属													
11 所属													
12 所属													
13 所属													
14 所属													
15 所属													
16 所属													
17 所属													
18 所属													
19 所属													
20 所属													
21 所属													
22 所属													
23 所属													
24 所属													
25 所属													
26 所属													
27 所属													
28 所属													
29 所属													
30 所属													
31 所属													
32 所属													
33 所属													
34 所属													
35 所属													
36 所属													
37 所属													
38 所属													
39 所属													
40 所属													
41 所属													
42 所属													
43 所属													
44 所属													
45 所属													
46 所属													
47 所属													
48 所属													
49 所属													
50 所属													
51 所属													
52 所属													
53 所属													
54 所属													
55 所属													

【受講登録票】

指導者育成プログラム受講記録表		氏名：	所属：				
No.	資格	科目名	受講日	印	備考		
1		地域スポーツ論	令和 年 月 日				
2	コーチ1 初級編	スポーツ教育指導法Ⅰ	令和 年 月 日				
3		コーチングⅠ	令和 年 月 日				
4	コーチ2 中級編	スポーツ教育指導法Ⅱ	令和 年 月 日				
5		コーチングⅡ	令和 年 月 日				
6	ブロンズ 認定指導者	スポーツ心理学Ⅰ	令和 年 月 日				
7		スポーツ医学Ⅰ	令和 年 月 日				
8		体力トレーニングⅠ	令和 年 月 日				
9	シルバー 認定指導者	コーチングⅢ	令和 年 月 日				
10		スポーツ心理学Ⅱ	令和 年 月 日				
11		スポーツ医学Ⅱ	令和 年 月 日				
12		スポーツと栄養	令和 年 月 日				
13		体力トレーニングⅡ	令和 年 月 日				
14		コーチングⅣ	令和 年 月 日				
15	ゴールド 認定指導者	スポーツ心理学Ⅲ	令和 年 月 日				
16		対象に合わせた指導	令和 年 月 日				
17		運動学	令和 年 月 日				
18			スポーツと法	令和 年 月 日			

指導者の質の向上の取組

- (1) 融合型部活動の指導者に、いきなりJSPOの公認資格を求めることが大きなハードルであることから、市独自のライセンス制度を考えた。
- (2) しかし、資格認定ということから市として制度策定には至らなかった。
- (3) 運営団体として、令和元年度から新潟医療福祉大学を連携し、大学監修のプログラムを活用した「指導者育成プログラム研修会」を開催してきた。
- (4) 運営団体として受講記録を行い、受講登録票を発行した。
- (5) 市教育委員会には共催申請を行い、主催：NPO法人希楽々、共催：村上市教育委員会として開催した。
- (6) 村上市部活動改革推進計画には、「融合型部活動の指導者は指導者育成プログラム研修会を受講すること」と義務化を図った。
- (7) 初回数名で始めた研修会も今では100名を超える申込となった。
- (8) 見守隊として保護者が受講したり、また市から部活動指導員の受講依頼もあり、多様な人たちが受講している。

今後の課題と対応方針

- (1) 新潟医療福祉大学が認定校となり、当研修会を受講することでJSPOの公認資格「アシスタントコーチ」の取得に結ぶことができた。
- (2) 左図のように、過去の受講歴や受講科目も記録されているので全18科目を受講した人はJSPO公認資格取得につながる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

運営団体と実施主体の連携強化
 (1)スポーツ少年団との組織統合

取組の成果

- ①部活動の地域移行を契機として、中学生のみならず、小中学生の環境整備について意見交換を行ってきた。
- ②スポーツ少年団の事務局は、総合型クラブが委託され、事務局を担っている。
- ③融合型部活動のHangoutは、融合型部活動とスポーツ少年団の同時開催を行ってきた。
- ④融合型部活動のKSTCは、一足早く、スポーツ少年団と統合した。
- ⑤丁寧に対話しながら組織統合について合意形成できた。
- ⑥令和7年度からNPO法人希楽々の中にスポーツ少年団が入る。
- ⑦ジュニアクラブ（仮）のポジショニング

イメージ図

事業一覧									
主体：希楽々	主体：スポ少年	主体：希楽々	主体：希楽々	主体：希楽々	主体：各サークル	主体：各団			
キッズスクール	融合型部活動	スポーツ教室	フィットネス	健康づくり	サークル	神林地区スポーツ少年団	体育施設指定管理	児童館	神林地区スポーツ少年団
JFC (サッカー)	Hangout	硬式テニス	美健体操	グラウンドゴルフ	神林GGC	Hangout	体育館	学童保育所	Hangout
チアダンス	CLG	ハワイアンフラ	ビジネスフィットネス	コツコツ	村上合気会	CLG	グラウンド	子育て支援センター	CLG
フラダンス	KSTC	バドミントン	パワーヨーガ	ピンピン	かみはやしスロレック協会	神林JBC	野球場		神林JBC
バドミントン	NEXUS	卓球	ズンバゴールド	しゃんしゃん	きらきら倶楽部	神林卓球	プール		神林卓球
キッズクラブ (短期)	神林TTC	ウォーキング	コアリズム	おでかケア	スポレックワークル	神林柔道	他体育施設		神林柔道
アフタースクール	MaAC			ささえ隊	レクダンス				
				歌広場					
				真向法					希楽で事!

今後の課題と対応方針

- (1) 同じ組織となるので、他の種目においても小中学生の環境整備を行っていきたい。
- (2) 将来的には、多世代の空間となるよう取り組んでいきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

(2)陸上種目が融合型として始動。市陸上競技協会が実施主体として指導することとなり、指導方針や今後の取組など合意形成を図りながら進めた。

取組の経緯

- ①令和5年度、陸上関係者で意見交換会を行った。
- ②これからの陸上を考えた時に「まずやってみよう」という声があった。
- ③令和5年度「夕暮れ時の合同練習会」「オフシーズンの合同練習会」を実施。
- ④市内小学生、中学校陸上部、地元の高校生で活動を行った。
- ⑤参加した生徒からは嬉しい声をもらった。
 - ・他の学校の生徒と一緒に活動し、刺激があった。
 - ・専門の指導をしてもらって嬉しかった。
 - ・定期的にこんな活動ができればいい。

取組の内容

- ①融合型部活動として「村上アドバンスアスレチッククラブ MaAC」が誕生した。
- ②クラブ名も実施主体である市陸上競技協会に考えてもらった。(当事者意識の醸成)
- ③土曜日(月1~2回)の活動からスタート
- ④希望する種目に対応するため、指導者は18名が登録(兼職兼業2名含)
- ⑤短距離、長距離、投てき、幅跳びなど専門種目について指導を行った。
- ⑥小学5,6年生から中学生を対象に活動
- ⑦市で1チームということで、地区を超えた参加、市外からの参加もある
- ⑧定期的に指導者と会議を重ねながら進めた。

来年度の活動

- ①令和7年度の活動は
 - ・毎週土曜日
 - ・オールウェザーでの活動がしたいということで、市外の陸上競技場に通う。
 - ・バスによる送迎を行う。
- ②令和8年度には、市内の全運動部活動がなくなることから陸上部顧問の先生と話し合いを行いながら、環境整備を図っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
工：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 工：面的・広域的な取組

取組事項

【拠点化・自走化の意識啓発】

村上市では現在、旧市町村単位で、各総合型クラブが運営団体となり、「融合型部活動」を取り組んでいる。しかし、今後、少子化により地区、学校単位での取組が困難になることが推測される。また国や県の財政的支援が恒久的に継続するものではないと考えられる。

(1)拠点化・自走化に向けて合同会議で説明

村上市では「令和8年度から運動部活動は地域へ完全移行する」ことを説明した。

(2)種目別ワークショップを開催し、種目ごとの今後のカタチについて意見交換した。

新しいカタチを考えたよ 合同会議 種目別WS R6.10.01		種目名	バスケットボール
令和6年度	令和7年度	令和8年度	
朝日：週2(16:00～学校の先生) 週2(19:00～地域指導者)+土日 村上：男子 レッドホークス週2 女子 東中は立ち上げたが中等のクラブに2人行っている 山北：平日週4 土1(平日) 保護者会としてやっている 保護者会 平日夜1回 神林：週3クラブ 神中部活 平日1回 その他は3～4回 クラス分け 初心者対応	朝日：夜週2回+土日2回 4回が限度 指導者の確保が重要 スタッフがいなかったため分けて練習ができず未経験者がやめてしまう 村上：クラブか部活動かわからない 明確に役割をわける 兼職兼業はわかるが子育てもあり参加が難しい 山北：指導者の確保が難しい R7年度からどうしていくか目的がたっていない 荒川：一般の団体があり、そういう所に入るのはいくか 指導ではなく一緒にやるのはいくか 神林：女子チームやりたい 村上市だけでなく新発田以北も対象に 今後はU-18カテゴリーも視野に入れて		
進めていく上での課題	目指すカタチ	課題に対する解決策	
<ul style="list-style-type: none"> ・運動したい子が少なくなっている(少子化に加えて) ・学校の延長時間でやることができなくなるので選手は減ると思う ・小学生から送迎していれば苦ではないが上記の親では参加しないと思う(やりたくてもできない) ・19時に帰ってくる形が子どもたちにとって健全 ・放課後時間では指導者が足りない ・子どもたちが睡眠不足になり授業中に寝る 	指導者確保 ・社会全体が変わる 行政が自ら15時以降地域に出ること認める →民間企業もCSRとして貢献してもらう バス ・児童のアフタースクールが参考になる ・放課後バスが学校に行き拠点体育館で練習し、19時までに親が迎えに来る 費用 ・村上市だけでなく新発田以北で考える 役割 ・学校なかのクラブなのか責任を明確にししっかり役割をわける 山北 ・地区で活動することができる仕組みがあれば	・村上市で組織は1つレベルに合わせてカテゴリー分けをしそれぞれ練習をする スタッフの融通がきく ・村上市から変わりますよ！社会を変えていく →後世代の指導者確保、CSR企業への就職希望 健全な時間に指導・練習を ・U-18として村上市地区でクラブがあるとい U-12、U-15のやる子が少なくなる 大学生→社会人→指導者で帰ってくるサイクルができるとい りハ大等大学との連携も	

【種目別WSによる「新しカタチを考えるシート」】

取組の成果

- 令和7年度から、融合型部活動のソフトテニスが拠点化することとなった。
- 神中・岩中学区の「KSTC」と一中・東中学区の「エイムハイ村上」が1チーム化。
- 現在、各クラブが、男女とも団体戦額が組めない、また指導者が不足しているという課題から拠点化が進んだ。
- 令和6年度は合同活動を行った。
- 令和7年度からは「きらら村上」という新チーム名で平日及び休日の活動を行う。
- 運営団体は、NPO法人希楽々となる。

今後の課題と対応方針

- 今後、少子化を見据え、持続性を考えた時に拠点化は必要である。
- しかし、種目によっては指導者の意識や現状困っていないということで進まない種目もある。
- 種目別の会議を重ねながら、拠点化に向けて合意形成を図っていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

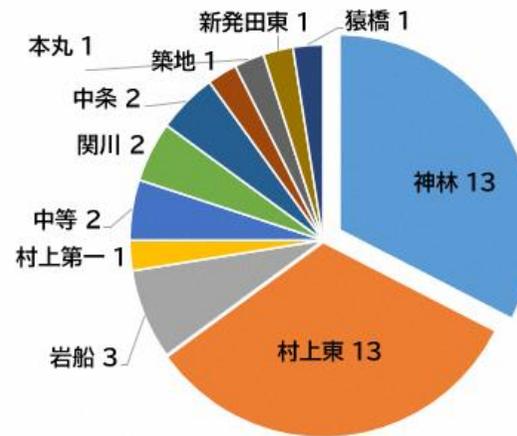
●取組項目名 オ：内容の充実①

取組の成果

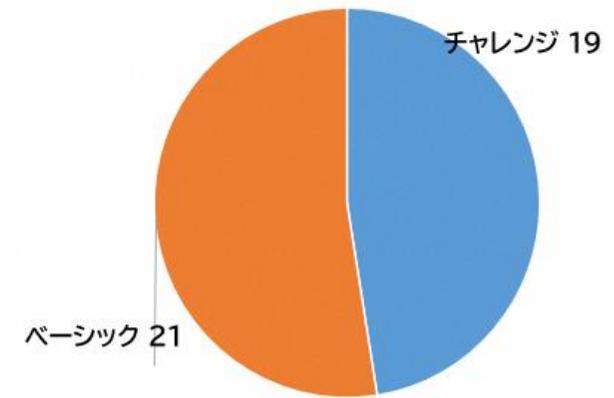
Hangout

- (1) 参加者数は44名。
- (2) 市内外を問わず、受け入れている。
- (3) 学校別は右図グラフの通り
- (4) ニーズに対応したクラス分け
- (5) クラス内訳も右図のとおり
- (6) ニーズの合わせた指導体制

学校別内訳



クラス内訳



ソフトテニス

- (1) スポ少と一緒に活動することで、効率的な指導が可能
- (2) 小学生と中学生の交流が可能

今後の課題と対応方針

- (1) 融合型部活動の各種目の指導者が当事者意識を持って、多様な取組を行っている。
単に、その種目を指導するだけでなく、「どうしたらたくさんのお子もたちに楽しんで参加してもらえるか」を考えることで、学校部活動よりさらにスポーツを楽しむ子供たちが増えることを目指す。
- (2) エリアを拡大し、市内外の地区からも参加をしている。そんな中、中体連はバスケットボールにおいては複数校からの参加を認めないとしている。今の流れを妨げるものであり、大会参加についても取捨選択が必要である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

- (1) ユニフォームの作成及び貸与
- (2) バスケットボール、軟式野球、バレーボールについて保護者負担を解決するため、希楽々で作製し、貸与する形で行っている。
- (3) その他、スポーツ用品についても予算内では不足のため希楽々で負担している。

地域クラブに係る経費

■経費の分析

	R3	R4	R5	R6	計
ユニフォーム	389,200	305,800		477,600	1,172,600
スポーツ用品等			100,000	193,400	293,400

R3 Hangout ユニフォーム作製

R4 Hangout ユニフォーム作製

R5 MaAC ラダー・ミニハードル等陸上用品購入

R6 NEXUS、CLG ユニフォーム作製

R6 NEXUS横断幕、CLGボール等



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

資料

「新たな財源確保の動き・・・「保護者も当事者として財源確保に動く」

- (1) 地元の無知の駅イベント「かかし祭り」で1体出品すると1,500円がもらえる。
保護者、生徒が自ら、かかし作りを行い、財源の確保に動いた。 by NEXUS
- (2) 参加費とは別に、月500円を保護者会で集金。大会参加等の経費に充てる。 By KSTC
- (3) 1チーム意識の醸成を目的に、Tシャツやチームグッズを作成し、販売。 By Hangout
- (4) それぞれが当事者意識を持ち、できることを自主的に動き始めた。
- (5) 令和5年度、6年度実施。
- (6) 今後自主事業として活動可能とする、収支の分析を図る。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



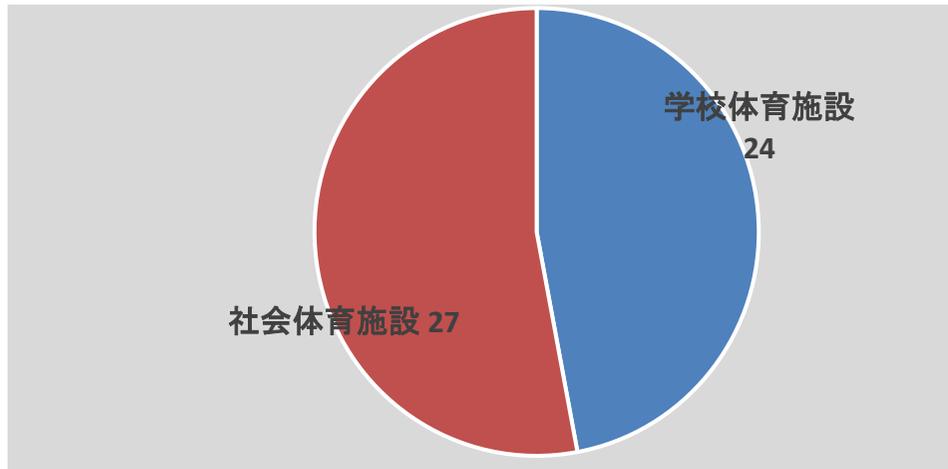
取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

- (1) 融合型部活動として使用している施設についてまとめた。
- (2) 市内には10種目20の融合型部活動が活動している。
- (3) 平日、休日含めて49活動（週）が行われている。

取組の成果



運営団体	実施主体	チーム名	種目	活動場所	活動日 下段 時間									
					月	火	水	木	金	土	日			
NPO 法人 希楽々	スポーツ少年団	Hangout	バスケットボール	神林総合体育館 神林中学校	○		○					○		
		KSTC	ソフトテニス	荒川グリーンパーク 平林体育館 神林総合体育館	○				○	○		○		
		NEXUS	軟式野球	神林中学校 神林多目的グラウンド 平林体育館	○					○	○			
	NPO 法人 希楽々	神林TTC	卓球	神林総合体育館 神林中学校							○	○		
	スポーツ少年団	challengers村上 MVC	バレーボール	神林総合体育館 神林中学校 平林 神納小学校				○				○		
	村上市 陸上競技協会	MaAC	陸上	神林多目的グラウンド 神林総合体育館							○	○		
NPO 法人 ウェルネスむらかみ	スポーツ少年団	エイムハイ村上	ソフトテニス	村上東中学校 村上体育館								○	○	
		村上市柔道教室	柔道	村上東中学校								○	○	
	NPO 法人 ウェルネスむらかみ	村上RED HAWKS	バスケットボール 男子	村上第一中学校		○	○		○	○				
		村上Laos FC	サッカー	村上東中学校									○	○
	村上Laos BC	バスケットボール 女子	村上東中学校									○	○	
NPO 法人 サンスマイルあらかわ	NPO 法人 サンスマイルあらかわ	卓球	卓球	荒川総合体育館	○	○		○	○			○	○	
		バレーボール	バレーボール	荒川中学校								○	○	
		サンスマイルBC	バドミントン	荒川総合体育館		○	○						○	○
		荒川ジュニアクラブ U15	バスケットボール	荒川中学校		○							○	○
NPO 法人 愛ランドあさひ	NPO 法人 愛ランドあさひ	バレーボール	バレーボール	朝日総合体育館 朝日中学校						○	○			
		Asahi Max's U15	バスケットボール	朝日総合体育館 朝日中学校 朝日みどり小学校	○	○			○	○				
		野球部	野球	朝日中学校								○	○	
		女子バスケットボール	バスケットボール	朝日中学校	○				○	○				
NPO 法人 希楽さんぼく	NPO 法人 希楽さんぼく	卓球	卓球	山北総合体育館 山北中学校	○	○					○	○		

今後の課題と対応方針

- (1) 令和8年度から運動部活動は地域へ完全移行となるため、令和7年度から学校部活動日の調整を図りながら融合型部活動を実施する。
- (2) 令和7年度は学校部活動としての利用が減少してくるため、学校体育施設を有効に活用していく。
- (3) 併せて、スポーツ用品、備品についても学校所有から地域活動へ譲り受けていくことも検討する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

「小規模校が部活動廃止からの新たな動き」

- (1) 生徒数45名（1年：22名、2年：11名、3年：12名）の岩船中学校は令和6年度夏大会以降、全ての部活動を廃止した。
- (2) 運動部活動は3種目（バスケットボール、ソフトテニス、バレーボール）
は融合型部活動として活動している。なお、平日を含めた融合型部活動として活動している。
- (3) 学校として、週2日程度（30分）の「知・徳・体クラブ」を始動した。
- (4) 学校内では、教員の業務負担軽減を考慮し、教頭・養護教諭が担当した。
- (5) 体クラブは、バドミントン、フリースロー、シャトルラン、鬼ごっこなど。
- (6) 1月から教員に代わり、希楽々職員が指導にあたった。
- (7) 1回の参加者は10～15人程度



総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和6年度までに20の地域クラブ活動を立ち上げ、休日のみならず平日も含め活動してきた。

指導者は、兼職兼業による教職員、スポーツ少年団指導者、NPO法人スポーツクラブの職員、民間人等多岐にわたり活動している。

また、地域クラブ活動の中には、中体連の大会に出場するクラブもあり、今後の一定の方向性は示すことができたと思括している。

この実証事業により受益者負担、指導者謝金の適正額など、NPO法人が財政支援がなくても自主事業として今後取り組むための検証を図っており、今後の方向性も示すことができたと思える。

●成果の評価

令和6年度までに20の地域クラブ活動を立ち上げ、市町村合併前の旧5自治体全てで地域クラブ活動を立ち上げている。

これにより、旧自治体にあるサブコーディネーターを担当する5つのNPO法人スポーツクラブ全て、地域クラブ活動のノウハウを把握し、さらなる地域移行へ向け円滑な活動展開に取り組むことが可能と思える。

また、NPO法人スポーツクラブの自主事業化に向けた検証成果も把握できたと思える。

●今後に向けて

今後の指導者の量と質の確保、移動手段の確保による、令和7年度末までの休日、平日も含む地域への完全移行に取り組めます。

また、スポーツ活動主管課の生涯学習課への事務移管の検討も進めています。

2.実証内容と成果④

会議資料

令和6年8月 日

部活動地域移行関係者 各位

地域スポーツクラブ活動体制整備事業
村上市総括コーディネーター
渡邊 康子

第1回合同会議及び種目別ワークショップの開催について（ご案内）

執筆の概 要様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
村上市では部活動の地域移行に向けて、各地区で検討会議やワークショップの開催、融合型部活動の実践など生徒の環境整備を進めています。
今年度の各地区の取組報告やこれからの課題解決に向けた方策、今後の方針について共有し、同じ方向を向いて子どもたちのより良い、持続的な環境を整備するため、合同会議及びワークショップを開催いたします。
お忙しいとは存じますがご出席いただきますようお願いいたします。

記

【開催日】 令和6年10月1日（火） 10:30～20:30
【会 場】 村上市生涯学習センター（マナボート）2階 大研修室
【内 容】 ・今年度中間報告について
・今後の方針について
・今後の活動について（種目別ワークショップ）
【その他】 出欠を9月20日（金）まで運営団体（各総合型クラブ）へ連絡してください。

お問合せ先	
【総括】 NPO 法人希楽々 担当 渡邊	
ウェルネスむらかみ	TEL 66-8119
愛ランドあさひ	TEL 52-6211
愛ランドあさひ	TEL 72-1445
サンスマイルあらかわ	TEL 62-2240
悠遊さんぽく	TEL 77-2826

【第1回合同会議案内】

令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
第1回合同会議

令和6年10月1日（火）
午後6時30分～8時30分
マナボート2階大・中研修室

遠藤教育長

1. 開 会 挨拶
2. 中間報告について
全体
各地区
「重点施策」について
3. 「今まで」と「これから」について
・取組と今後
・村上市の「これから」
4. 「種目別ワークショップ」（60）
種目ごとで「これから」についてディスカッション
5. 今後の予定
6. その他
7. 閉 会

資料1
資料2
資料3
資料4
遠藤教育長

【第1回合同会議次第】

地 区・中学校名	所 属	役職等
神林 岩船地区 神林 岩船中学校区	神林中学校	校長、部活動主任
	岩船中学校	校長、部活動主任
	融合型部活動「Hangout」	指導者（バスケットボール）2名
	融合型部活動「Challenger村上」	指導者（バレーボール）2名
	融合型部活動「KSTG」	指導者（ソフトテニス）3名
	融合型部活動「EXUS」	指導者（軟式野球）2名
村上地区 村上第一中学校	融合型部活動「神林TC」	指導者（卓球）2名
	融合型部活動「nAC」	指導者（陸上）2名
	村上第一中学校	部活動担当、陸上部バドミントン部バレーボール部顧問
	バドミントン部	保護者3名
村上地区 村上第一中学校	村上第一中学校	卓球部顧問
	卓球部	保護者、外部コーチ
	バレーボール部	保護者、外部コーチ
	野球部	保護者会長
村上地区 村上中学校	村上中学校	野球部顧問、卓球部顧問、バレーボール部顧問
	卓球部	保護者、外部コーチ
	バレーボール部	保護者会長、外部コーチ
村上地区 村上中学校	村上中学校	校長、教頭
	融合型部活動「セイムハイ村上」	指導者
朝日地区 朝日中学校区	融合型部活動「Aeahil ax'U16」	コーチ、保護者会
	融合型部活動「女子バレーボール部」	コーチ、保護者会
	朝日中学校	バレーボール部顧問
荒川地区 荒川中学校区	融合型部活動「朝日BC」	監督、コーチ2名、保護者会
	荒川中学校	校長、陸上部顧問
	サンスマイルあらかわ	サッカー指導者2名
	融合型部活動「卓球」	指導者
山北地区 山北中学校区	融合型部活動「バレーボール」	指導者2名
	融合型部活動「バスケットボール」	指導者
	山北中学校	校長、部活動主任、卓球部顧問
山北地区 山北中学校	山北中学校	部活動指導員（軟式野球）
	山北中学校	外部指導者（男子バスケ/バレーボール）
行 政	融合型部活動「卓球」	指導者
	悠遊さんぽくスポーツクラブ	指導者（女子少野球、バレーボール外務指導員）
	村上市教育委員会	教育長
	学校教育課	課長、指導主事、参事
	学校教育課教育推進室	室長
	生涯学習課	課長
	生涯学習課スポーツ推進室	室長、主査
村上 荒川 神林 山北教育事務所	所長	
村上地区	Ⅱ）ウェルネスむらかみ	サブコーディネーター
朝日地区	Ⅱ）愛ランドあさひ	サブコーディネーター
荒川地区	Ⅱ）サンスマイルあらかわ	サブコーディネーター
山北地区	Ⅱ）悠遊さんぽく	サブコーディネーター
神林 岩船区	Ⅱ）希楽々	サブコーディネーター
全 体	Ⅱ）希楽々	総括コーディネーター

【第1回合同会議参加者名簿】

会議資料

令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
融合型部活動「ソフトテニス」についての説明会

令和6年12月17日(火)
19:00~20:00
神林総合体育館ミーティングルーム

1.開会挨拶	
2.今年度の活動について(報告)	資料1
3.「今まで」と「これから」について ・人口推計、競技人口推計 ・村上市の方針	資料2 資料3
4.令和7年度からの「ソフトテニス」について ・活動概要	資料4
5.今後の予定 ・今年度の活動 ・中体連関係 ・令和7年度の募集	
6.その他	
7.閉会	

【ソフトテニス拠点化説明会次第】

令和6年12月19日

関係者 各位

NPO 法人希楽々 理事長 渡邊 優子

融合型部活動「MaAC」についての説明会（ご案内）

師走の候 寒い日が続いておりますがお変わりありませんか。
平素から融合型部活動「MaAC」に対し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、学校部活動の地域移行について、村上市教育委員会も今後の進め方について方針を明確にしました。
それを踏まえ、令和7年度の活動について関係者の皆様にご説明させていただきたく、標記説明会を開催いたします。
お忙しいとは存じますが、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

記

- 期日 令和7年1月14日(火) 19:00~20:00
- 会場 神林総合体育館 会議室B
- 内容
 - 現状について
 - 村上市の方針
 - 令和7年度の活動について
 - その他

お問合せ先
NPO 法人希楽々 (神林総合体育館)
担当 渡邊 優子
電話 0254-66-8119 FAX 0254-66-8112
E-mail: yuko.watanabe@kirara-kamihayasakura.ne.jp

【陸上保護者説明会次第】

会議資料

令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業	
第3回コーディネーター会議	
次 第	
令和6年11月5日(火) 午前10時～ 村上市体育館ミーティングルーム	
開 会	
1 地域スポーツクラブ活動体制整備事業について	
(1)予算執行状況について	
↓	
(2)令和7年度予算について	
(3)令和8年度以降について	
(4)その他	
2 意見交換	
3 その他	
閉 会	

【第3回コーディネーター会議会議次第】

部活動の地域移行と今後の方向性				
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
国	改革推進期間			新たな改革期間
	部活動の地域移行に関する実証事業 休日の部活動の早期移行 R6 実行会議の設置 ・3年間の課題整理と解決策、今後の支援方策の検討			
市	中学校の部活動地域移行推進計画			部活動の完全移行 (平日 休日) ・スポ少同様の補助 (中学生のスポーツ推進) ※融合型と地域クラブとの差別化
	・融合型部活動」の推進 休日の部活動の完全移行 ※平日も同時期移行を目指す			
総合型 クラブ	融合型部活動の推進			総合型クラブの自主事業 受益者負担による自走化 ※ 融合型部活動」という表記はしない
	・融合型部活動」の実践 ・融合型部活動」の拠点化			
検討事項	◎現状の「融合型部活動」について → ◎未実施の種目について →			

【第3回コーディネーター会議資料】

アンケート結果・広報資料

村上市部活動地域移行推進事業

融合型部活動 バスケットボールクラブ

【融合型活動とは】
部活動の限定的な地域移行に伴い、行政、学校、地域が協力し合い行う活動です。

kamihayashi Hangout
since 2020

【Hangoutの意味】
「たまりば」 バスケットが好きな人、誰でも参加できる居場所

*多様なニーズに対応 ※生徒と保護者のニーズを指導者と相談しクラスを決めます。
【チームングクラス】…下級大会で活躍を目指す。
【ベテランクラス】…基礎的な技術や体力向上を図り、試合等の楽しさを感じるようにする。

*広く土人のメンバーで練習！ 色々な中学校の生徒や小学生との合同練習も非常に融合形式の練習が可能！

*大会参加も可能！ 中体連主催大会やバスケット協会主催大会にも参加！

月曜日 19:00～21:00 @ 平林体育館
水曜日 19:00～21:00 @ 神林総合体育館
土曜日 13:15～16:15 @ 神林中学校

※その他大会や練習試合などあり

対象 中学1～3年生 男女 (12月からは小学校6年生も対象)

活動費 1回 500円/チケット 1枚
(5枚2,500円 11枚5,000円 事務所に事前にお支払いください。)

申込 入会申込書にご記入の上、希塚々事務局へお申込みください。(年会費無料)
問合せ NPO法人希塚々(神林総合体育館内)
TEL:0254-66-8119 営業時間 月・水～金8:30～21:30 火・土8:30～17:30

【バスケットボール「Hangout」募集チラシ】

融合型部活動 令和6年度 村上市地域スポーツクラブ活動体制整備事業

NEXUS(ネクサス)-軟式野球-

学校と地域で創る「融合型部活動」です。
絆の強さ、強固なつながりにより良い環境づくりを目指します！

【活動日時・場所】

曜日	活動場所	活動時間	備考
月曜日	神林多目的グラウンド ※神林中学校	19:00～21:00	4～10月 ※11月以降/雨天時
金曜日	神林多目的グラウンド	19:00～21:00	4～10月 ※11月以降/雨天時は活動なし
土曜日	神林中学校グラウンド ※平林体育館	8:30～11:30 ※平林体育館使用時は 9:00～12:00	4～10月 ※11月以降/雨天時

【対象者】 中学1年生～中学3年生 ※学校部活動を引退した3年生も参加できます。

【参加費】 1回500円(上限3,000円) ※毎月月末に月費をお支払いしますのでお忘れなくください。
・スポーツ安全保険料、大会参加に際する登録料や参加費は含まれていません。
・大会参加時も活動日と同額になります。

【申込み】 希塚々入会申込書をご提出ください(年会費は無料です)

【その他】 活動中に撮影した写真は、SNSや通信等に活用させていただく場合があります。

【お問い合わせ】 NPO法人希塚々 TEL:0254-66-8119 月・水～金 8:30～21:30 / 火・土 8:30～17:30

【軟式野球「NEXUS」募集チラシ】

アンケート結果・広報資料

村上市部活動地域移行推進事業

融合型部活動

活動日

曜日	時間	会場
月	19:00~21:00	グリーンパークあらかわ(雨天時:神林総合体育館アリーナ)
水	19:00~21:00	グリーンパークあらかわ(雨天時:平林体育館)
金	16:30~18:00	神林総合体育館アリーナ
土	(晴)8:30~12:00 グリーンパークあらかわ (雨)13:00~16:00 神林総合体育館または平林体育館	

※4月~10月までは屋外練習となります。11月~3月は雨天時の会場・時間となります。

対象 小学1年生~中学3年生
(金曜日は神林中・岩船中の生徒のみ)

活動費 1回 500円(1ヶ月上限 3,000円)※スポーツ安全保険料込み。
バスを利用する場合は、別途 1回200円となります。
活動費・バス利用料ともに月謝徴にて後払いとなります。

申込 受講するには希楽々入会申込書をご提出してください。(年会費は無料です)
保険適用の関係で入会日の翌週から活動可能となりますのでご了承ください。

その他 ・活動中の写真は希楽々通信やHP・SNS等に活用する場合があります。
写真の利用については問題がある場合は事前にお知らせください。
・休日等の大会時は学校とKSTCで対応します。

希楽々を見逃して、
小・中の2年生も参加

お申し込み・お問合せ
NPO法人 希楽々
TEL: 0254-66-8119
村上市九日市 601 希楽々 神林総合体育館内
(月・水~金 8:30~21:30 / 火・土 8:30~17:30)

【ソフトテニス「KSTC」募集チラシ】

村上市部活動地域移行推進事業

融合型部活動

Challengers村上MVC

令和6年
7月スタート!

※4~6月は神林中学校の生徒のみ対象です。

中学校部活動が地域へ移行する方針が出されました。
学校という枠を超えて、みんなで/レーボールをしよう!
中学校で/レーをやりたい男子も参加OK!

月曜日 19:00~21:00 @神林総合体育館
木曜日 19:00~21:00 @神林総合体育館
土曜日 8:30~11:30 @神林中学校

※その他大会や練習試合などあり

対象 中学1~3年生 男女
活動費 1回 200円子ケット 1枚 (入会時にスポーツ安全保険料200円/年が必要です。)
(5枚1,000円 11枚2,000円 事務所にて事前にお買い求めください。)
申込 入会申込書にご記入の上、希楽々事務局へお申込みください。(年会費無料)
問合せ NPO法人希楽々(神林総合体育館内)
TEL:0254-66-8119 営業時間 月・水~金8:30~21:30 火・土8:30~17:30

【バレーボール「challengers村上」募集チラシ】

アンケート結果・広報資料



村上市部活動地域移行推進事業

希楽々

融合型部活動
中学生卓球クラブ
～神林TTC～

★大会参加について
令和6年度は中学校体育連盟の大会は“中学校名”で参加します。
その他、オープン戦に関しては、クラブチーム名で参加します。

★希楽々が運営主体
中学校や教育委員会との連携をしながら継続的で安心安全な活動を行います。

★豊富な指導者でレベルに応じた指導
学校の先生や地域の指導者がニーズやレベルに応じて指導をします。

土曜日 8:30～11:30 @神林中学校
※その他大会や練習試合などあり

対象 中学1～3年生 男女

活動費 1回 200円チケット 1枚 毎回練習時に指導者へお渡しください。
(5枚1,000円 11枚2,000円 希楽々事務局にて事前にお買い求めください。)
入会時にスポーツ安全保険料800円/年が必要となります。

申込 入会申込書をご記入の上、希楽々事務局へお申込みください。
(年会費無料)

問合せ NPO法人希楽々(神林総合体育館内)
TEL:0254-66-8119
営業時間 月・水～金8:30～21:30 火・土8:30～17:30

【卓球「神林TTC」募集チラシ】



融合型部活動

村上アドバンスアスレチッククラブ 誕生

MaAC

令和6年度

融合型部活動として「陸上」がスタートします
「陸上」に興味がある人 一緒に始めましょう！
種目・目的意識は人それぞれでも、活動を通して認め合い、高め合ってみんなで楽しみましょう！

他の部活動に入っても、他の種目をやっても、誰でも参加できます！

開催日 毎土曜日 ※活動日は裏面をご覧ください
開催時間 午後4時00分から6時00分まで
開催場所 神林多目的グラウンド
※雨天時(冬期間) 神林総合体育館 神納小学校

対象者 小学5、6年生 中学生
指導 村上市陸上競技協会
参加費 1回 200円チケット1枚
5枚1,000円 11枚2,000円を事務局でお買求め下さい
スポーツ安全保険料 800円をお支払い下さい

申込み NPO法人希楽々の入会が必要です(年会費無料)
入会申込書をご記入の上、事務局へお申込み下さい
入会申込書のプログラム欄に希望分野(短距離、長(中)距離、跳躍、投てき)をご記入ください。

お問合せ NPO法人希楽々(神林総合体育館内)
0254-66-8119
月・水～金 8:30～21:30 火・土 8:30～17:30
主催:NPO 法人希楽々
協力:村上市陸上競技協会

【陸上「MaAC」募集チラシ】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【R6誕生したchallengers村上】



【R6誕生したMaAC】



【スポーツ少年団と統合したKSTC】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【第1回指導者育成プログラム研修会】



【第2回指導者育成プログラム研修会】



【第4回指導者育成プログラム研修会】



【第7回指導者育成プログラム研修会】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【コーディネーター会議】



【合同会議】



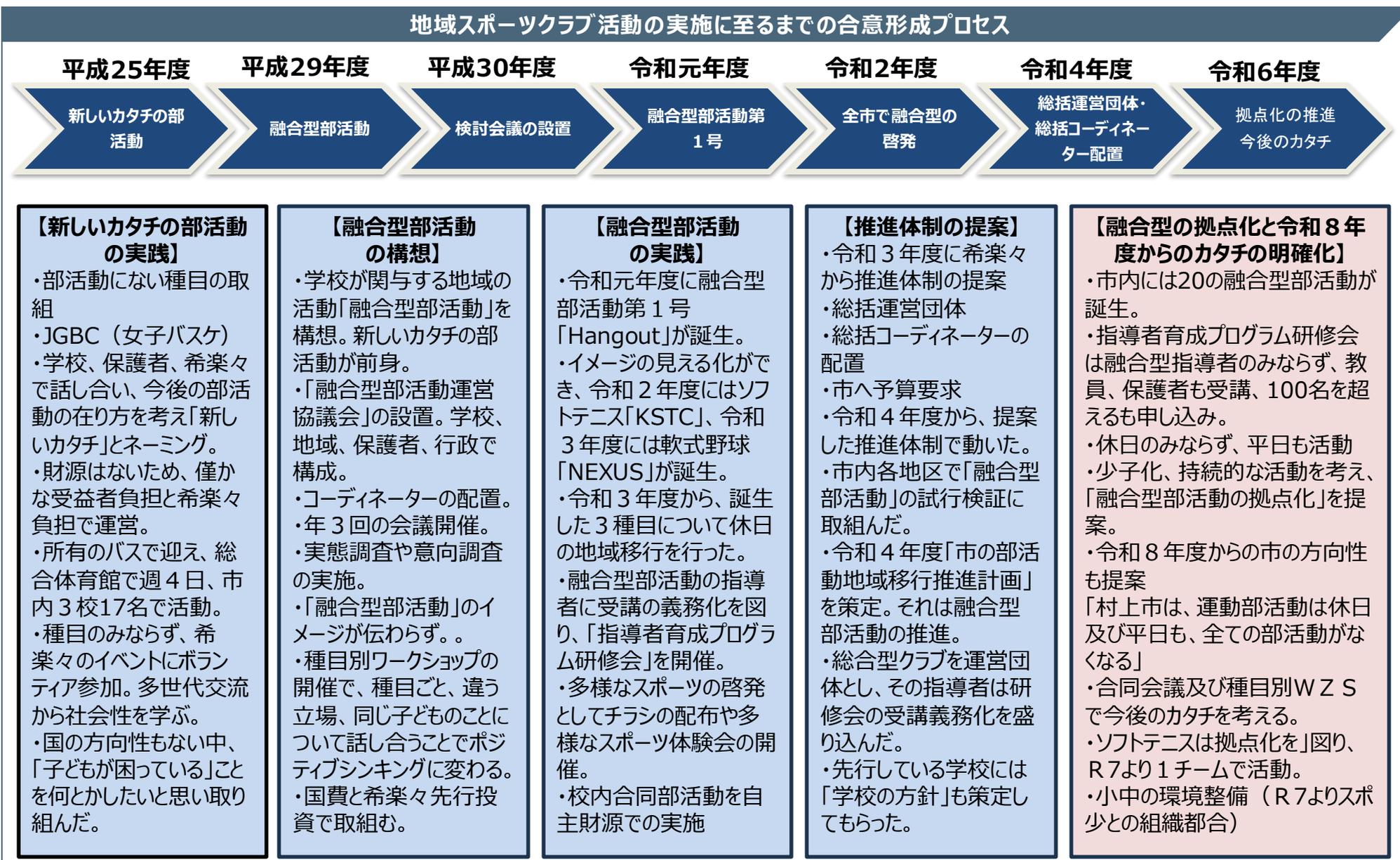
【種目別ワークショップ】



【拠点化に向けた説明会】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和5年1月

村上市立中学校の部活動地域移行推進計画【概要】

村上市教育委員会

○少子化が進む中、中学校の部活動の維持が困難になりつつある。学校によって部活動の選択肢が限られ、生徒の多様なニーズに応じた活動の機会を保障し、生涯にわたりスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保が急務である。その際、生徒の自主的な活動であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、村上市民総がかりで、新しい価値を創出することが大切である。対象は村上市在住の中学生（県立含む）とする。

○「部活動の地域移行に関する検討会議の提言」を踏まえ、令和4年12月に策定された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」により、村上市は、新たな「地域クラブ活動」を整備することにした。

○村上市「地域クラブ活動」は、村上市教育委員会が関与し、村上市内のNPO法人等が運営主体となる。運営主体の傘下に入って、管理・監督（ガバナンス・コード）を受けて連携した団体が、指導者を確保し、国や県、村上市の支援を受け、受益者負担の原則（負担の軽減を最大限行う）の下に活動をする。文化部については、当面の間、村上市教育委員会による直轄方式をとり、段階的な移行を目指す。

○令和5年度から令和7年度までの3年間を移行期間とする。令和8年度初から休日の活動は完全に移行し、平日の活動も同時期の移行を目指す。令和5年2月に希望する団体、希望する指導者の募集、各学校での生徒及び保護者への説明をする。3月から希望する教師の兼職兼業手続きも行う。

○令和5年以降、毎年4月の各中学校の部活動説明会とPTA総会で、村上市「地域クラブ活動」となる団体について説明し、活動への参加生徒を募集する。移行期間は学校部活動と「地域クラブ活動」が同時に活動することになる。混乱を避けるため「融合型部活動」を行う。

I 村上市「地域クラブ活動」

<スポーツ>

村上市教育委員会

総括運営主体（総括コーディネーター）



各中学校に令和4年度にある部活動は何らかの形で「地域クラブ活動」団体に移行することを目指す。なお、スムーズな移行のために合同での活動を行う。



<吹奏楽> ※他の文化部を含む

総括運営主体（企画 村上市教育委員会）

運営主体

「文化クラブ（仮称）」

※ 休日 市内合同 兼職兼業指導者
※ 市内一カ所で活動

各PTAが、吹奏楽部を中心とする「文化クラブ（仮称）」を立ち上げ、「監視員」を雇用する。



II 指導者

総括運営主体は、希望する者の指導者としての適性や資格等を審査し、登録承認する。登録は年度毎とする。また、「指導者育成プログラム」を実施し、公認指導者資格を取得させる。村上市内の人材を有効に活用する。教師が兼職兼業承認を受け地域指導者となることを妨げない。

III 活動場所 移動手段等

村上市「地域クラブ活動」については、原則として学校施設以外の既存施設を利用する。ただし、季節や天候によって学校施設を利用する場合もある。移行期間について、平日の活動場所までの移動は、「クラブバス（仮称）」の運行を検討する。移行後は運営主体と団体で手配・運行する。休日は保護者送迎を原則とするが、移行期間内の市内での合同の活動や中体連又は吹奏楽連盟の大会等の場合は休日の通学バスの利用を検討する。この場合の費用は村上市教育委員会が補助を検討する。道具や用具は個人負担を原則とする。

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

新潟県 燕市

自治体名：新潟県 燕市

担当課名：教育委員会 学校教育課

電話番号：0256-77-8191

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	110.94 km ²
人口	75,931 人
公立中学校数	5 校
公立中学校生徒数	1,779 人
部活動数	50 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	策定済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、当市の運動部活動は、50部が活動している。部活動数は、大規模校では15部だが、小規模校では5部と、学校による差が大きい。

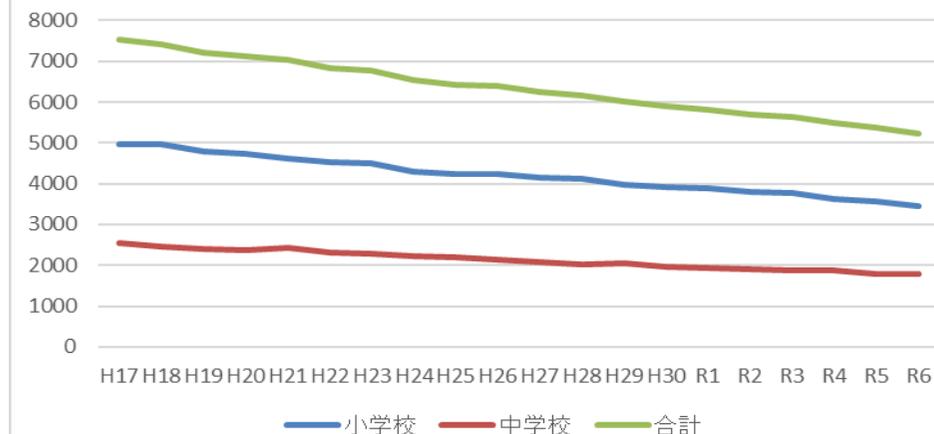
少子化に伴い、昨年度から男女別に設置していた部活動を男女統合したり、他校と合同部活動を行ったりしてきた。今年度も、3年生が引退した夏以降、2校で軟式野球部の活動が停止した。当市の児童生徒数の推移を見ると、今後も部活動の存続が難しくなることが考えられる。

当市では、燕市部活動の在り方検討委員会を設置し令和4年2月から同年12月にかけて

計5回の検討委員会を行った。最終的に「燕市部活動の在り方検討委員会提言」をまとめ、これを受けて令和4年12月に「燕市部活動の在り方に係る方針」を策定した。子どもが多様なスポーツ・文化活動を選択できることを目指し、令和5年度から段階的に休日の部活動を地域移行し、令和8年度から原則すべての休日で地域移行を行うことを示した。

地域クラブ活動を行う中で、指導者・保護者の理解、平日と休日の活動の違い、休日の部活動の大会の参加、受益者負担への理解、活動場所への移動などの課題が挙がっている。

燕市の児童生徒数の推移

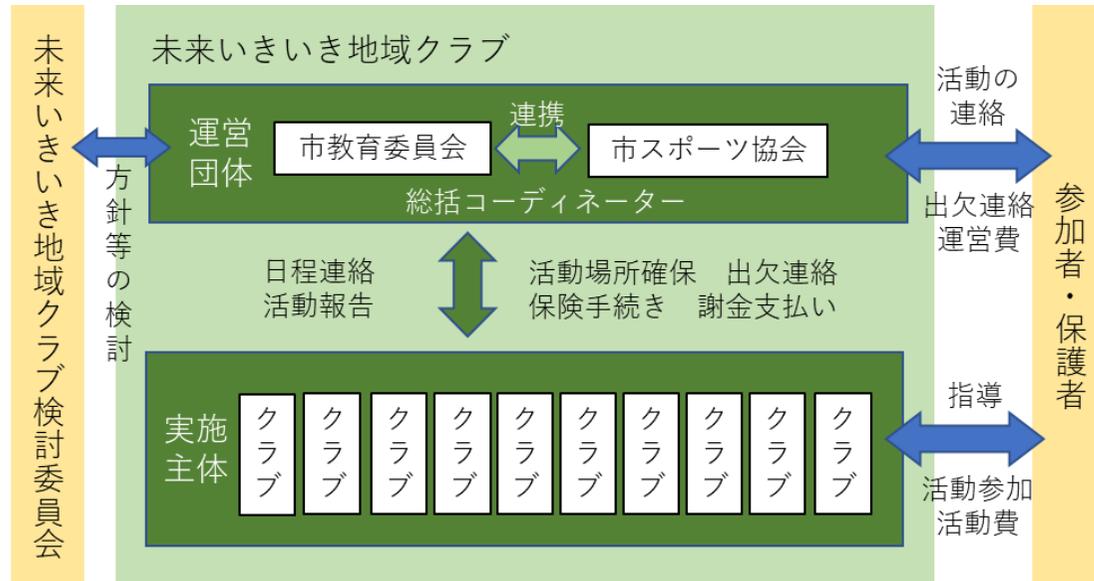


H17年度に比べてR6年度は、児童・生徒数ともに30%減少した。中学生の人数は、2,302人から1,779人に減少した。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・学校教育課：部活動の地域移行の主幹、制度設計、学校・関係団体・指導者・保護者・生徒等への方針・具体的な内容の説明、運営委託先のスポーツ協会との連携、学校・指導者・生徒との連絡・調整
- ・社会教育課：スポーツ・文化活動の関係団体、指導者等との連携

◎首長部局

- ・クラブ指導者として市職員の参加
- ・予算・人事面を中心に、未来いきいき地域クラブを支援

年間の事業スケジュール

令和6年4月	未来いきいき地域クラブ活動①の実施（4スポーツ月1回）
令和6年6月	小中学生へのニーズ調査
令和6年7月	広報つばめ7月号で特集 指導者説明会の実施 生徒説明会の実施、募集開始
令和6年8月	指導者研修会の実施 第3回検討委員会の実施
令和6年9月	未来いきいき地域クラブ活動②の開始（すべてのスポーツが対象月2回）
令和6年10月	第4回検討委員会の実施
令和6年11月	小学6年生向け説明会（各小学校で実施）
令和6年12月	中学校入学説明会で新入生の保護者向け説明
令和7年2月	指導者説明会の実施
令和7年3月	新入生の募集開始

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	5校	実施した地域クラブ総数	30クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		12クラブ（12部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		18クラブ
全体の指導者数	90人	全体の運営スタッフ数	8人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
FAST	未来いきいき地域クラブ	陸上競技	月2回	9:00-11:00	1年 16人 2年 13人	9月1日～3月31日	陸上競技場、市立中学校、市内総合体育館	5人	0人	月会費 1,000円 (運営費)	中体連：部活動
VC燕吉田	未来いきいき地域クラブ	バレーボール男子	月2回	9:00-12:00	1年 13人 2年 10人	9月1日～3月31日	市内中学校	4人	0人	月会費 1,000円 (運営費)	中体連：部活動
車いすダンス	未来いきいき地域クラブ	車いすダンス	月2回	9:00-12:00	1年 0人 2年 1人	9月1日～3月31日	産業会館	2人	0人	月会費 1,000円 (運営費)	中体連：なし 競技団体：地域クラブ

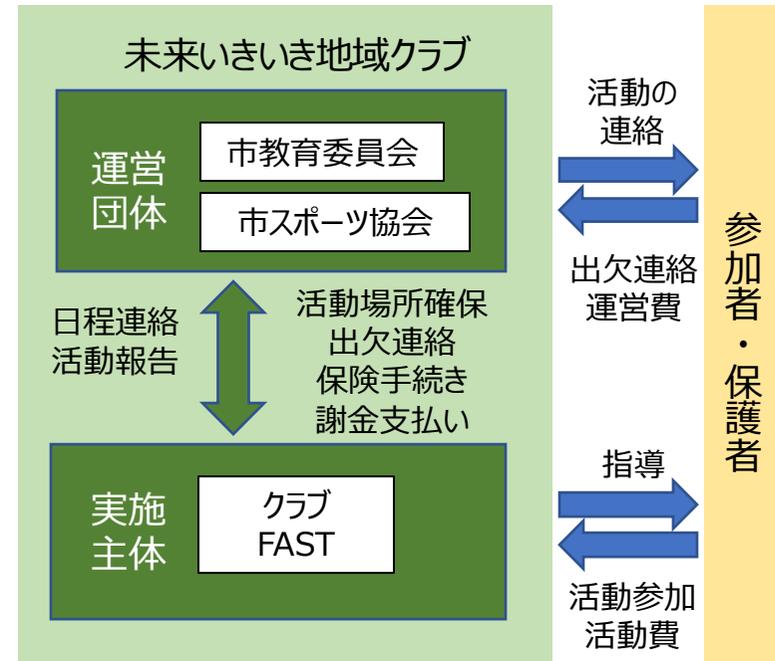
2.実証内容と成果

主な取組例

●FASTクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技
運営団体名	未来いきいき地域クラブ (市教育委員会と市スポーツ協会)
期間と日数	9月1日～3月31日 月2回
指導者の主な属性	スポーツ指導者、中学校教諭等
活動場所	陸上競技場 市内中学校、総合体育館等
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者の送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	未来いきいき地域クラブの運営費 7,000円(月1,000円×7か月)
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり:800円/年 指導者1人あたり:1,850円/年

●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：練習の安全確保や指導者同士の連携を中心となるて行う

●指導者 5名

役割：競技の全体指導と、指導のサポートを行う 種目ごとの練習を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・市教育委員会と市スポーツ協会が連携して、市内全地域を網羅する燕市未来いきいき地域クラブの運営を行う。
- ・未来いきいき地域クラブに参加するクラブを募集、応募があったクラブを認定して実施主体とする。
- ・総括コーディネーターが中心となり、市教育委員会、市スポーツ協会、実施主体（クラブ・指導者）、参加生徒・保護者、学校、関係団体等との連携を図る。

取組の詳細

市教育委員会の役割（運営団体）

- 未来いきいき地域クラブ検討委員会の実施
活動方針・具体的な活動内容の報告・検討
- 参加生徒の募集
クラブ一覧表を作成、中学生に周知し参加者を募る。
- 保険の手続き
指導者・参加者の保険加入手続き、怪我等発生時の保険の手続き
- 謝金の支払い
指導者の活動実績に応じた謝金の支払い
- 指導者研修の実施
指導者研修会の運営、指導者から振り返りの回収、指導者認定

市スポーツ協会の役割（運営団体）

- 指導者との連絡・調整
練習日・時間の確認、練習場所の確保、生徒の出欠状況の連絡、練習当日のトラブル対応、練習の巡回、業務日報等のクラブからの報告の受付、各種相談・連絡
- 参加者・保護者との連絡・調整
マチコミの登録状況確認、練習日・時間の連絡、出欠の確認・集約、クラブの変更・退会の連絡受付、各種相談
- その他
指導者研修会の講師依頼・運営、協会内・関係団体との連絡・調整、各種会議等への参加

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

参加クラブ（実施主体）

○日程の確定

練習日・時間・活動場所の希望をスポーツ協会に伝える。（練習場所の確保、参加者への連絡はスポーツ協会が行う。）

○活動・指導

練習の指導を行う。業務月報としてスポーツ協会に報告する。

活動に必要な消耗品等は、各クラブで購入する。

総括コーディネーターの具体的な動きの実績

○活動日に、クラブの活動の様子を視察

指導者からの相談に乗った。

活動の様子や指導者の声から課題を把握し、改善に努めた。

○各種説明の実施

学校（教職員・保護者・児童生徒）、関係団体、まちづくり協議会などにおいて、説明を行った。

○定例打合せ

スポーツ協会のコーディネーターと打ち合わせを行い、スムーズな運営につなげた。

取組の成果

- ・運営団体と実施主体を分けることで、実施主体の各クラブは安心して指導を行うことができている。
- ・運営団体として、市教育委員会と市スポーツ協会との連携がうまくいっている。日常の運営は任せることができている。
- ・スポーツ協会は窓口も分かりやすく、指導者や参加者にとって、相談しやすい環境になっている。

今後の課題と対応方針

- ・運営団体と実施主体が分かれていることへの理解が進んでいない。
→丁寧な説明を継続する。
- ・運営に関わって、指導者・参加者への連絡に複数のシステムを利用しているため、手間がかかっている。急な変更に対応しにくい。
→運営システムを導入する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



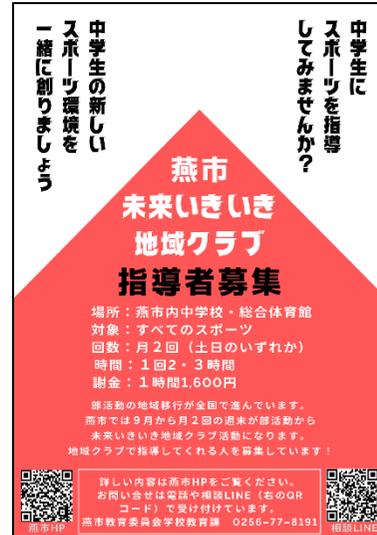
取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

- ・関係団体への説明、HP・SNS等で周知をした上で、参加クラブ・指導者を公募する。
- ・指導者研修会・交流会を実施し、指導者の質の担保、横のつながりを構築する。
- ・各クラブに、複数体制での指導を促す。

【応募の際に使用したポスター】→



参加クラブ

- 19種目、30クラブ
- 陸上競技
 - バレーボール
 - バスケットボール
 - バドミントン
 - 卓球
 - 水泳
 - 野球
 - 柔道
 - 剣道

<部活動になかった種目>

- 空手
- グローブ空手
- キックボクシング
- 車いすダンス
- ソフトボール
- サッカー
- フットサル
- ゲートボール
- モルック
- フィットネス&トレーニング

※部活動にあったが応募がなかった種目：ソフトテニス、体操

指導者の人数

指導者の人数 90人
(指導者1人クラブ 5クラブ)

<属性>

部活動指導員 10人

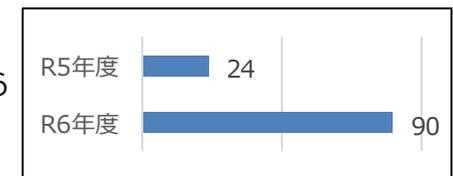
教職員 8人

市職員 7人

部活になかった種目の指導者 21人

取組の成果

- ・公募制としたことによって、これまで学校の部活動と関係があまりなかった指導者や、部活動で設置されていない種目の指導者が参加してくれた。
(特に部活動で設置されていない種目の指導者が、これをチャンスと捉えてくれた)
- ・昨年度に比べて、指導者数が3.8倍に増えた。
- ・各クラブに複数体制での指導を促したところ、各クラブの指導者から新しい指導者を紹介してもらうことができた。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

- 新潟医療福祉大学健康スポーツ学科 三瀬貴生様
「成長期のスポーツ指導におけるケガの予防」
 - ・成長期（中学生年代）の特性
 - ・ケガ予防のためのエクササイズ指導
 - ・ケガ予防の仕組みづくり（連携・体制）
- 新潟医療福祉大学健康スポーツ学科 西原康行様
「プレーヤーセントードなコーチング」
 - ・プレーヤーセントードとは
 - ・日本と外国の指導の違い
 - ・ハラスメントとアンガーマネジメント

指導者研修の参加実績

- ・開催日： 8月24日
- ・開催回数： 1回
- ・参加人数： 57人
- ・研修会当日に参加できなかった方、研修会後に指導者に登録した方向けに、研修会の様子を動画で撮影し、後日研修ができるようにした。動画の視聴後に振り返りのレポートを書いている。

受講者の声

- ・思春期でころも身体もこどもから大人へと大きく変わっていく繊細な時期なので、丁寧にサポートしていきたい。
中学生の段階では成長を踏まえたパフォーマンス向上を心がけ、負荷のバランスを考えた練習内容、ケガや事故が起こらないように練習環境も考えていかなければならない。
実際に指導をしていると、早熟の選手はケガでパフォーマンスが年々低下するケースをみていたので、期待するが故にトレーニングについて、自分自身ももっと学ばなければならない。
- ・こどもの求めていることを把握し、そのための理解をするために、オープンクエスチョンとクローズドクエスチョンで質問をしたりしながら、ひとりひとりにあった練習方法やサポートの内容を考えることが大切だと思った。
- ・練習していく過程で生徒は疑問・課題に対する質問が出てくると思う。一方的に答えるだけでなく、生徒にもなぜその疑問・課題の質問に至ったかを求めることで双方向の学びや信頼性につながる。

今後の課題と対応方針

- クラブとして設置されたが参加者が0人のクラブへの対応（6クラブ：グローブ空手、モルック、ソフトボール、サッカー、ゲートボール、野球）
→新入生向けの見学会の実施、複数クラブへの参加を可とする。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- ・燕市未来いきいき地域クラブ検討委員会を実施し、今後の方向を検討する。
- ・新潟医療福祉大学と連携して、検討委員会の委員や指導者研修会の講師を派遣してもらう。
- ・市スポーツ協会を通して、加盟競技団体との連携を図る。スポーツ協会による、加盟団体長会議で地域移行の方向について説明など
- ・個別の競技ごとに、地域移行への対応を検討、随時相談を行う。

未来いきいき地域クラブ検討委員会

- 開催回数 2回
- 開催日 7月24日、10月31日
- 委員 9人 大学教授、市内小・中体連担当校長、市PTA連合会、市スポーツ協会、部活動指導員（スポーツ・文化活動）、部活動顧問（スポーツ・文化活動）
- 検討内容
 - ・現在の活動の状況の成果と課題
 - ・令和7年夏からの地域移行の方向：すべての土日を活動日とすること、3年生が9月以降も活動を継続すること、複数の種目に参加できるようにすること
 - ・令和8年以降の地域移行：すべての平日で部活動の地域移行をすること

取組の成果

- ・それぞれの立場から、燕市の部活動の地域移行の方向・取組に意見をいただいた。
- ・取組によって想定される課題を出していただけたことで、事前に対策を考えることができた。
- ・新潟医療福祉大学との連携によって、専門的な知見を得ることができた。
- ・未来いきいき地域クラブに参加するクラブを募集する際に、関係団体への説明会や個別の相談をスポーツ協会を通して行ったことで、参加の有無を競技ごとに検討してもらうことができた。

今後の課題と対応方針

- 平日の地域移行の検討・実施
- 休日以上に関係団体との連携

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

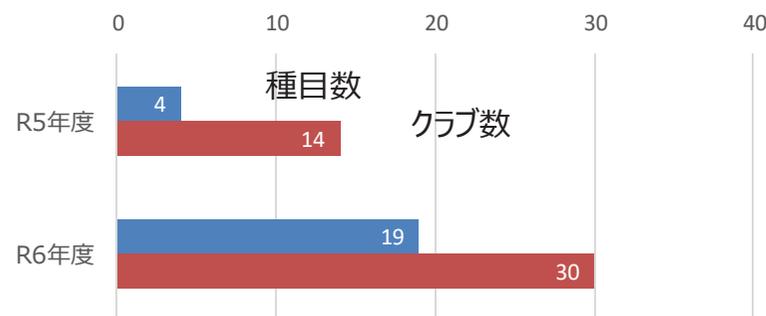
- ・これまでの4スポーツからすべてのスポーツを対象に拡大する。
- ・未来いきいき地域クラブは市内全域から学区関係なく参加できるようにする。
- ・市立中学校だけでなく、県立中等教育学校・特別支援学校の生徒も参加できるようにする。

未来いきいき地域クラブ

- ・市内全地域を網羅する燕市未来いきいき地域クラブの運営を行う。
- ・学区関係なく参加できるようにすることで、学校による生徒の選択肢の差がなくなるようにする。
→活動場所までの移動は必要
- ・一括して募集をすることで、生徒にとってアクセスしやすい環境をつくった。

取組の成果①

- ・対象をすべてのスポーツとしたことで、未来いきいき地域クラブに参加する種目数・クラブ数ともに多くなった。



取組の成果②

- ・複数の学校の生徒が参加するクラブが、8クラブになった。
→参加生徒アンケートでは、参加してよかったこととして「他校の生徒と一緒に活動ができたこと」の回答が多くなった。

今後の課題と対応方針

- ・クラブが設置されたが、参加生徒が集まらずに休止するクラブがあった。
- ・県立中等教育学校、特別支援学校の生徒の参加者が少ない。
→小中学生向けの見学会、広報活動を継続して行っていく。
→他市町村、小学生や高校生が参加できるように検討を進める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

・障がいの有無に関係なく参加することができるクラブ

→「車いすダンス」と「バーチャルフィットネス」の2つのクラブを設置



【体験会の様子】

活動の詳細

参加人数	1人 (見学・体験会での参加者2人)	指導者数	1人
属性	ビジョンバーチャルTC (フィットネス&トレーニング)		
具体的な内容	・壁にフィットネス&トレーニングのインストラクターの映像を流して、その映像を見ながら参加者が一緒に身体を動かす。		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 体力をつけたいと思って参加した。動きは楽しかった。 ● 他校の友だちをつくることができると思って参加したが、参加者が1人で寂しかった。 		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 部活動になかった種目なので、きっかけがないと参加者が増えないかもしれない。 ● バーチャルなので、中学生が指示の言葉が分からないと正しい動きをするのが難しいかもしれない。 		
運営経費	運営団体として連携しているスポーツ協会が行っている講座を中学生の地域移行の講座として開いている。そのため、地域クラブとしての経費はかかっていない。		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組事項

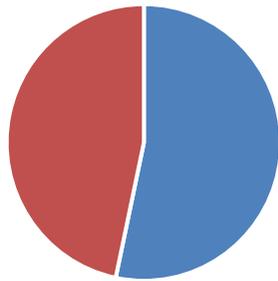
- ・内容の充実のために、児童・生徒向けにアンケートを実施する。
- ・部活動に設置されていなかったスポーツ種目も、未来いきいき地域クラブに参加できるようにする。

アンケート

- ・目的：「部活動の地域移行」によって、燕市のスポーツ・文化活動を豊かで持続可能なものにしていくための小中学生向けの意識調査（主に平日の地域移行について）
- ・対象：市立小中学校、県立中等教育学校の小学4年生から中学2年生（前期2年生）の児童・生徒
- ・回答方法：Googleフォームによる回答
- ・回答期間：令和6年6月26日から7月12日（17日間）
- ・回答数：2,180人 小学生1,431人、中学生749人

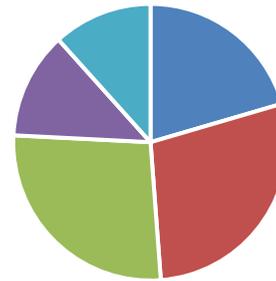
アンケート結果①

■ 入って活動したい ■ 入りたくない



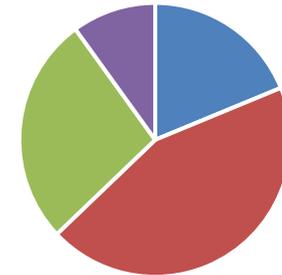
複数のクラブを選択できたら
入って活動したいですか？

■ 1日 ■ 2日 ■ 3日 ■ 4日 ■ 5日



平日はどれくらいの日数、クラブ
で活動したいですか？

■ 1時間未満 ■ 1～1.5時間
■ 1.5～2時間 ■ それ以上



平日はどれくらいの時間、活動
したいですか？

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実③

アンケート結果②

■ 16:30 ■ 17:00 ■ 17:30
■ 18:00 ■ 18:30 ■ それ以降



平日に活動するなら、どの時間に開始するのが良いですか？

【自由記述より】

- ・「もっと休みが欲しい」「休みが少ない」という内容が中学生に多くあった。
- ・活動内容では、「楽しい活動」、指導者から「優しく」「丁寧に」教えてもらいたいという内容が多くあった。
- ・「活動時間」について「早く帰ることができる」「明るい時間に終わる」ようになってほしいという内容が多く、その理由として「スポーツと勉強の両立をしたい」という記述があった。

取組の成果

・アンケートからは、平日の活動について児童・生徒の考えを知ることができた。これを踏まえて検討を進める。

・部活動に設置されていない種目のクラブが9種目設置された。

空手 グローブ空手 モルック
ゲートボール サッカー ソフトボール
車いすダンス フィットネス
キックボクシング

今後の課題と対応方針

・平日の活動時間についての児童・生徒のアンケート結果（早い時間帯での活動）と、クラブの指導者など大人が活動できる時間帯（仕事が終わる時間）の差がある。

→指導者不在時に活動の場を見守るクラブサポーターの導入を検討する。

・部活動に設置されていない種目のクラブ（障がいの有無に関係なく参加できるクラブも含む）が設置されたが、参加者が少ないクラブや、参加者が集まらずに休止中のクラブが多くある。

→小学生向けの見学会を実施するなど、様々な種目に触れる機会を設定する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

- ・実証事業における収支構造の可視化を行う。
- ・受益者負担として、スポーツ安全保険料800円と未来いきいき地域クラブ全体の運営費1,000円を集める。
- ・経済的困窮家庭には運営費と保険料を全額免除する。

地域クラブに係る経費

■未来いきいき地域クラブ全体の運営費

- ・参加者の募集、活動場所の確保、指導者との連絡調整、参加者への連絡、保険の手続きなどを、運営団体が行う費用
- ・指導者の謝金を支払う費用
→月1,000円を全体の運営費として集める。

■各クラブの活動費

- ・各クラブで必要になる、ボールやシャトルなどの消耗品を購入する費用、対外試合への移動などに必要な費用など
→運営団体から、15,000円を支給
→その他、必要な費用は各クラブで集める。

収支バランス

収入

項目	費用	割合
受益者負担	1,549,200	19.9
運営費	1,386,000	
保険料	163,200	
公的資金	6,231,790	80.1
市費	2,077,264	
スポーツ庁	2,077,262	
県費	2,077,264	
合計	7,780,990	

支出

項目	費用	割合
事務局人件費	2,386,716	30.67
人件費・賃金	2,386,716	
クラブ活動費	2,907,218	37.36
諸謝金	2,120,000	
保険料	519,676	
消耗品費	267,542	
クラブ活動運営費	2,487,056	31.96
旅費・交通費	9,306	
謝金等	80,000	
再委託費	2,397,750	
合計	7,780,990	

- ・収入全体に占める公的資金の割合が80%になっている。
- ・生徒の活動に直接関係する、クラブ活動費に、受益者負担の金額を割り当てるとした場合、およそ50%をまかなうことができている。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

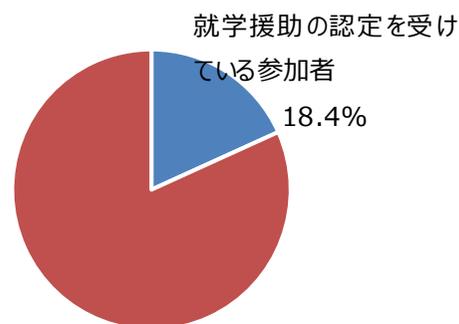
●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

＜保護者の負担で考える＞

- ・すべての休日が対象になった場合、月4回活動を行う。現在月2回で1,000円なので、月4回になると2,000円になる。
- ・今後、平日の活動も考えた場合、最大4日（1日休養日を設けて）活動することを想定する。1日300円とすると、月4,800円、1日200円とすると、月3,200円になる。
- ・このような試算だと運営費で合計5,200円から6,800円となる。
- ・ここに、各クラブの活動費が入るクラブがあると、負担が大きくなる。

経済的困窮家庭に対する支援



全参加者における就学支援の割合

- ・就学援助の認定を受けている生徒は、運営費月1,000円と保険料800円を全額免除する。

取組の成果

- ・今年度から受益者負担を求め、経済的困窮家庭に対する支援を行った。活動回数が、まだ少ないことから負担額はそれほど大きくならなかったこともあり、保護者から高すぎるとの声はほとんどなかった。
- ・運用を開始したことで、集金の仕方、就学援助の認定日、クラブが休みの場合の対応など、様々な課題が明らかになった。

今後の課題と対応方針

- ・今年度は、9月からスタートだったため、年間一括払いとした。それによって、クラブが休みの場合や途中で退会した場合などに対応することができなかった。運営システムを導入し、月ごとの活動回数に応じた集金ができるようにする。
- ・今後、平日の地域移行を進める場合、受益者負担の金額が大きくなりすぎないように設定する。
- ・企業からの協賛をお願いする方法等を今後検討する。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

生徒にとって、分りやすくアクセスしやすい地域のスポーツ環境を、指導するクラブにとって、安心して活動することができる体制を創ることを目指した。具体的には次のことを目指した。

○生徒にとっては、部活動のようにクラブの一覧表があり入会する方法が統一されていること、市内どこにあるクラブにも参加できること

○指導するクラブにとっては、学校の部活動が担っていた運営の部分の負担をできるだけ減らして、生徒の活動に集中することができること

そのために、次のことを行った。

- ①スポーツ協会と連携して、市内全域を網羅する地域クラブである、未来いきいき地域クラブの運営団体となること
- ②未来いきいき地域クラブに参加するクラブを募集する形式とすること
- ③指導者研修会を実施すること
- ④児童・生徒へのニーズアンケート、検討委員会での検討を実施すること

●成果の評価

- ・熱中症警戒アラート発出時や大雪で移動や活動が困難になる恐れがある時に、運営団体が活動の中止の判断を行い、安全を最優先した運営を行うことができた。
- ・複数の学校の生徒が参加するクラブがあり、他校の生徒と一緒に活動できたことが良かったと考える生徒が多くなった。
- ・部活動に設置されていなかった種目のクラブが設置されたが、参加者がいない、少ないクラブが多くなった。部活動加入後は、他の種目に参加する生徒が少なくなるのが原因として考えられる。
- ・クラブ活動日に学校行事や部活動の大会が入り、活動できない日があった。運営費の集金を年間払いとしていたため、活動回数が減ることへの疑問の声があった。
- ・検討委員会で、委員からそれぞれの立場で意見をいただくことで、今後の方向を見いだすことができた。

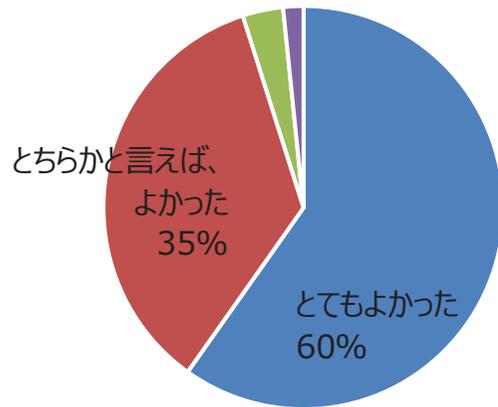
●今後に向けて

- ・適宜、クラブを見学できるようにする。部活動に加入前の新入生向けの見学会を行い、特にその周知を丁寧に行う。
- ・運営システムを導入し、情報管理、連絡、集金を一括して管理することができるようにする。運営費の集金は、1か月ごとに行うことができるようにする。
- ・現在の休日月2回から、今後すべての休日、平日へと拡大するにあたって、児童・生徒へのニーズアンケート、検討委員会での検討を踏まえて内容を決定する。

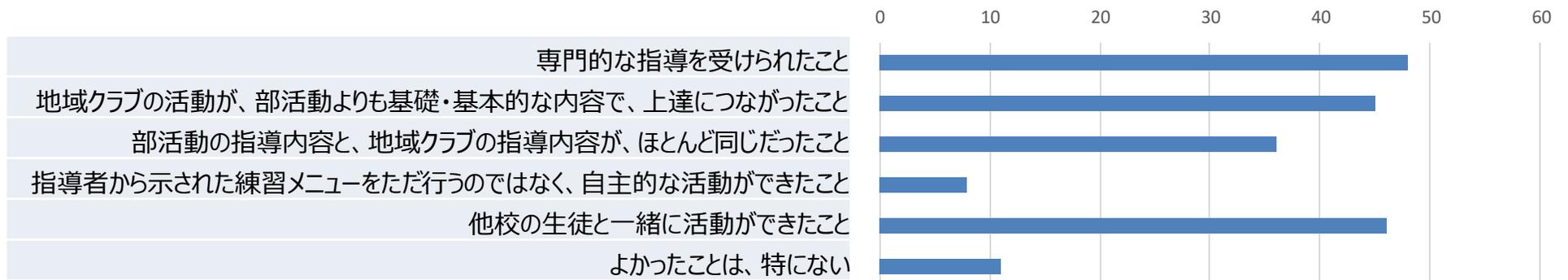
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

Q.参加した感想



Q参加してよかったことを教えてください。



●参加者の声

中学1年生

活動内容が自分に合っていて、参加しやすかったです。他校の人と関わることができたのも良かったです。

指導者

参加生徒が熱心に参加してくれるので、教えていてやりがいを感じます。

保護者

活動回数が少ないので、もっと回数が増えても良いと思います。

保護者

競技の楽しさを毎回工夫を凝らしたメニューで教えていただき大変ありがたく感じています。

アンケート結果・広報資料

未来いきいき地域クラブに参加しているクラブの一覧表を作成して生徒に配付した。QRコードを読み込むと、クラブの紹介や活動の様子が出るようにした。クラブに参加する時は、各クラブに申し込むのではなく、運営団体に一括して申し込むようにしている。

燕市未来いきいき地域クラブⅡ期一覧表 1

令和6年9月、燕市教育委員会とスポーツ協会が連携を行う、未来いきいき地域クラブのII期の活動がはじまります。(※活動日は4ページ参照)
 ○一覧表に掲載しているすべてのクラブから一つ選択して参加できます。(※参加している都道府県と違う都道府県のクラブ、選んでいる学校の場所とは別の活動場所のクラブにも参加することができます。)
 ○各クラブの紹介の右下にQRコードがあるクラブは、紹介動画を観ることができます。QRコードを読み取ってください。
 ○一覧表の種目に男女の別が書かれていないクラブは、男女どちらとも参加することができます。
 ○クラブの活動場所までの移動は、参加者が行います。
 ○未来いきいき地域クラブの掲載やクラブ一覧表は、燕市ホームページ(右のQRコードもしくは下のURL)から確認することができます。
<https://www.city.tsubame.niigata.jp/sosokiki/kyokaku/1/125/13259.html>

吉田空手道会

主な活動場所 吉田中学校体育館 吉田体育館
 活動費 なし
 クラブのPR クラブのPR
 空手を学んで強い心と身体を作りたい。幅広い世代の会員が一緒に練習しています。

代表 山崎 行男

つばくろバドミントンクラブ

主な活動場所 吉田中学校体育館 吉田中学校体育館
 活動費 年2000円
 クラブのPR バドミントンを通じて練習仲間との交流、初心者、経験者ともに、一人ひとりが笑顔で練習できるクラブ活動を目指しています。

代表 岡山 秀哉

きららんバドミントンクラブ

主な活動場所 吉田中学校体育館 吉田中学校体育館
 活動費 年2000円
 クラブのPR バドミントンを通じて練習仲間との交流、初心者、経験者ともに、一人ひとりが笑顔で練習できるクラブ活動を目指しています。

代表 岡山 秀哉

燕男子バスケットボールクラブ

主な活動場所 燕中学校体育館 燕中学校体育館
 活動費 なし
 クラブのPR バドミントンを通じて練習仲間との交流、初心者、経験者ともに、一人ひとりが笑顔で練習できるクラブ活動を目指しています。

代表 金山 豊俊

グローブ空手鬼神会

主な活動場所 燕市体育センター 運動部
 活動費 月1000円
 クラブのPR 空手の経験とキックボクシングの技術を学び、心身の健康と人とのつながりを築いています。

代表 朝崎 狂貴

SPORTS DOJO KAGAYAKI

主な活動場所 SPORTS DOJO KAGAYAKI
 活動費 月1000円(予定)
 クラブのPR キックボクシングで楽しく運動します。サットリンやエリート打、巻手に合わせたエクスサイズや筋トレなども勉強します。女の子も歓迎です。

代表 伊達 文雄

日本車いすダンス

主な活動場所 スポーツ道場 新潟県支部
 主な活動場所 吉田総合体育館
 活動費 なし
 クラブのPR 車いすの技術や舞の経験はかかちの経験があります。皆で楽しめる非競技的なスポーツで、パラリンピックの公式種目となることを目指しています。

代表 小野 正英

分水バスケットボール男子

主な活動場所 分水中学校体育館
 活動費 なし
 クラブのPR 「高橋はるまき選手、チームを引っ張ろう」チームプレーを学ぶ。練習のめまわしを練習し、バスケットボールを通して社会性を育てていきたいです。

代表 山田 直也

GLOWS

主な活動場所 小郡中学校体育館
 活動費 月500円
 クラブのPR バスケが大好きな仲間と楽しく練習したいです。

代表 金光 剛紀

BUNSHI BUNBAR

主な活動場所 分水総合 分水中
 活動費 なし
 クラブのPR バスケが大好きな仲間と楽しく練習したいです。

代表 野木 英夫

ビジョンパーチャレ

主な活動場所 ビジョンレススポーツ
 活動費 なし
 クラブのPR 体力向上はモチベーションも高まり、楽しく練習できるプログラムを体験していただき、障がい者の方にも参加してほしいです。燕市障がい者スポーツ大会、分水地区からも参加していただきます。

代表 石原 昌吾

ツパメッコモルッカーズ

主な活動場所 吉田総合グラウンド 吉田総合体育館
 活動費 月1000円
 クラブのPR 水の輪を回すKスポートのクラブ、モルッコも、活動の楽しさを伝えたいです。今年度の活動も頑張ります。

代表 山崎 秀哉

燕秋桜jr.-SC

主な活動場所 スポーツランド燕
 活動費 月500円(予定)
 クラブのPR 好きなスポーツを楽しく練習したいです。『ソフボール』が大好きです。楽しく練習したいです。

代表 岡山 博樹

○参加方法 ①右のQRコードを読み取って登録フォームより登録をしてください。②登録フォームの中で、各クラブの電子メールの登録用メールアドレスとパスワードが表示されるので、マテコを登録してください。③①②の2つを登録して、登録完了になります。

○運営費 令和6年度は7,000円(月1,000円×7か月)とスポーツ安全保険800円の合計7,800円が必要です。※残学費返還は、運営費は免除されます。

○支払い方法 後日、納付書を送りますので取り込んでください。※年度の途中で退会しても返金されません。

○クラブ活動費 未来いきいき地域クラブの運営費以外に、消耗品を購入するための活動費がかかるクラブがあります。活動費は各クラブで集めます。

○未来いきいき地域クラブの12月までの活動日(月2活動します。次の日は原則運動部の活動はありません。)

1回目	9月14日(土)もしくは15日(日)	2回目	9月21日(土)もしくは22日(日)
3回目	10月12日(土)もしくは13日(日)	4回目	10月26日(土)もしくは27日(日)
5回目	11月16日(土)もしくは17日(日)	6回目	11月23日(土)もしくは24日(日)
7回目	12月7日(土)もしくは8日(日)	8回目	12月21日(土)もしくは22日(日)

未来いきいき地域クラブの活動の様子を伝えるために、未来いきいき地域クラブ通信を発行した。

未来いきいき地域クラブ通信

(燕市の部活動の地域移行について)

令和6年9月発行
 燕市教育委員会 学校教育課
 Tel 0256-77-8191
 Fax 0256-77-8188

未来いきいき地域クラブ第II期の活動スタート!!

9月14日(土)15日(日)から、中学1・2年生を対象とした、未来いきいき地域クラブ第2期、すべてのスポーツを対象に月2回の活動が始まりました。複数の学校の生徒が参加するクラブ、これまで学校の部活動になかった種目のクラブもスタート! 開講式を行うクラブもありました。

今回は、未来いきいき地域クラブの活動の一部を紹介いたします。

つばめいきいき卓球クラブ

<指導者の声>意欲的な子どもたちです

車いすダンススポーツクラブ

<参加生徒の声>
 ・学校の先生もいけどクラブ先生もいい!
 ・いろいろな先生から学べたためになる
 ・部活動と同じ雰囲気楽しくできる
 ・うまくなっていく実感がある!

県央剣道クラブ

<保護者の声>
 ・クラブの先生の指導が好きになったみたい
 ・丁寧に教えてくれています

分水陸上クラブ

燕北女子バレーボールクラブ

参加の申込はまだ受け付けています。また、ちょっと活動を見てみたい人は見学会も行ってください。詳しくは、右のQRコードを読み取って通信8号をご覧ください。

【生徒への参加募集用クラブ一覧表】

【広報資料】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【FAST（陸上クラブ）の活動の様子】



【指導者研修会の様子】



【中学校PTA総会での説明の様子】



【空手クラブの活動の様子】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和3年

- ・「部活動通信」を発行し、部活動の地域移行について検討をはじめたことを伝える。
- ・生徒・保護者・教員を対象として、主に休日の部活動についてのアンケートを採り実態を把握した。

令和3年

周知活動
関係者への
アンケート

協議会設置、
検討開始

令和4年

- ・第5回燕市部活動の在り方検討委員会で提言をまとめ、提出していただく。
- ・提言を受けて、「燕市部活動の在り方に係る方針」を策定した。

令和4年

推進計画の
策定

令和5年

運営団体の
選定
競技ごとの調整

- ・地域クラブ活動開始前に、各学校の地域クラブ対象生徒向けの説明会、全保護者を対象とした保護者説明会を実施した。
- ・全指導者を対象とした、指導者研修会を実施した。（講師は、検討委員会の委員長の大学教授に依頼する。）

生徒、保護者へ
の説明
指導者研修会

地域クラブ活動
の開始

- ・燕市部活動の在り方検討委員会を設置する。令和3～4年にかけて、5回検討委員会を開催した。
- ・委員は合計7人（大学教授、PTA代表、部活動指導員、中学校長、部活動担当教諭）

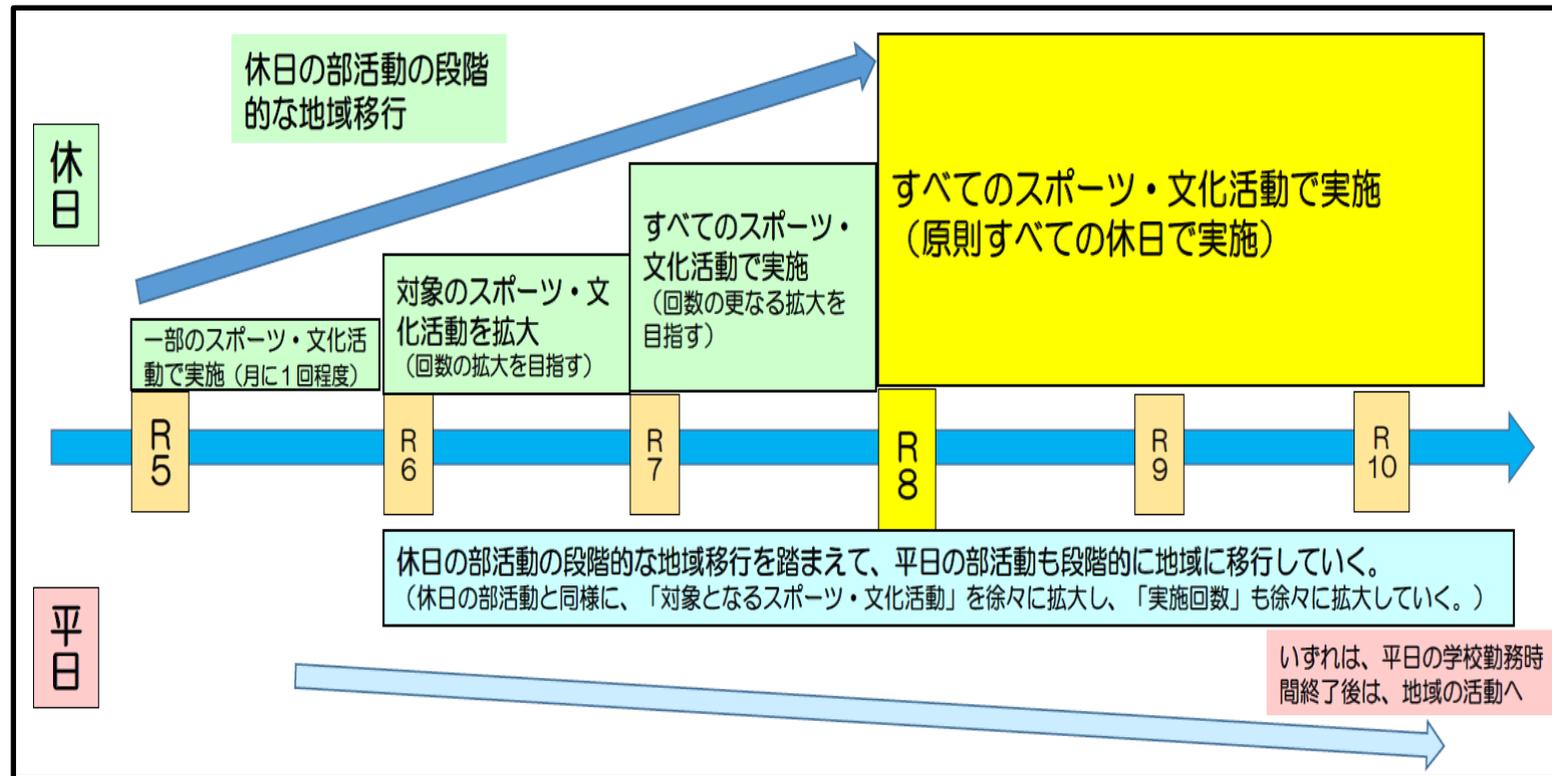
令和5年

- ・市教育委員会と市スポーツ協会が運営団体となるクラブを未来いきいき地域クラブとする。
- ・令和5年から、先行して実施する4種目の部活動顧問、指導者を対象とした分科会を行う。

- ・7月から4種目を対象に月1回程度の地域クラブ活動を開始した。
- ・アンケートで生徒の希望が多かった種目である、陸上、バレーボール、バスケットボール、バドミントンの4種目を対象とした。
- ・令和6年度以降、段階的に拡大している。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



「燕市 部活動の在り方に係る方針」(令和4年12月) より

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

新潟県 糸魚川市

自治体名：新潟県糸魚川市

担当課名：教育委員会事務局 生涯学習課

電話番号：025-552-1511

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	746.24 km ²
人口	38,363 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	864 人
部活動数	54 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	検討委員会設置 (令和5年11月)
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	推進計画策定済 (令和6年3月)

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

令和4年度から地域連携部活動の充実と段階的な休日の部活動の地域移行・地域展開に取り組み、令和6年3月に、糸魚川市における目指す姿と推進計画を策定している。

当市においても、学校単位で活動が困難になってきている部活動種目が多くあり、中学生が望む活動をこれからも選び、取り組んでいける体制づくりが急務となっている。

市内のジュニアスポーツ育成団体を中心とした社会教育団体と学校とが連携した地域ぐるみの受皿体制づくりを進めている。

◆糸魚川市内の中学校部活動（運動部）

… 4 中学校15種目54部活動

(内、特設部活動 5 種目12部活動)

◆地域クラブ活動を開始した部活動

➡ R4 3部活動（1地域クラブ）

➡ R5 5部活動（5地域クラブ追加）

➡ R6 14部活動（11地域クラブ追加）

< R6現在 > 10種目17クラブが活動開始

学校名	項目	R2	R3	R4	R5	R6
能生中学校	生徒人数	166	159	150	151	142
糸魚川東中学校	生徒人数	132	136	129	130	132
糸魚川中学校	生徒人数	466	475	475	467	430
青海中学校	生徒人数	156	162	171	158	160
中学校計		920	932	925	906	864
統計といわがわ (R6) 抜粋						

【市内4中学校の部活動設置状況】

学校別 種別	種目	能生		糸魚川東		糸魚川		青海		
		男	女	男	女	男	女	男	女	
学校に部活動がある曜日	1 陸上競技	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2 バスケットボール			○	○	○	○	○		
	3 サッカー					○				
	4 軟式野球	○		○		○		○		
	5 体操競技					○	○			
	6 バレーボール	○	○			○	○		○	
	7 ソフトテニス					○	○		○*	
	8 卓球	○	○	○	○	○	○	○	○	
	9 剣道					○	○	○	○	
特設部活動とその他	15 水泳競技	●	●			●	●	●	●	
	16 バドミントン					●*	●*			
	17 柔道					●				
	18 相撲	●								
	スキー	クロスカンター			○	○				
		ジャンプ								
		アルペン	●	●			●			
20 駅伝					●					
21 空手										

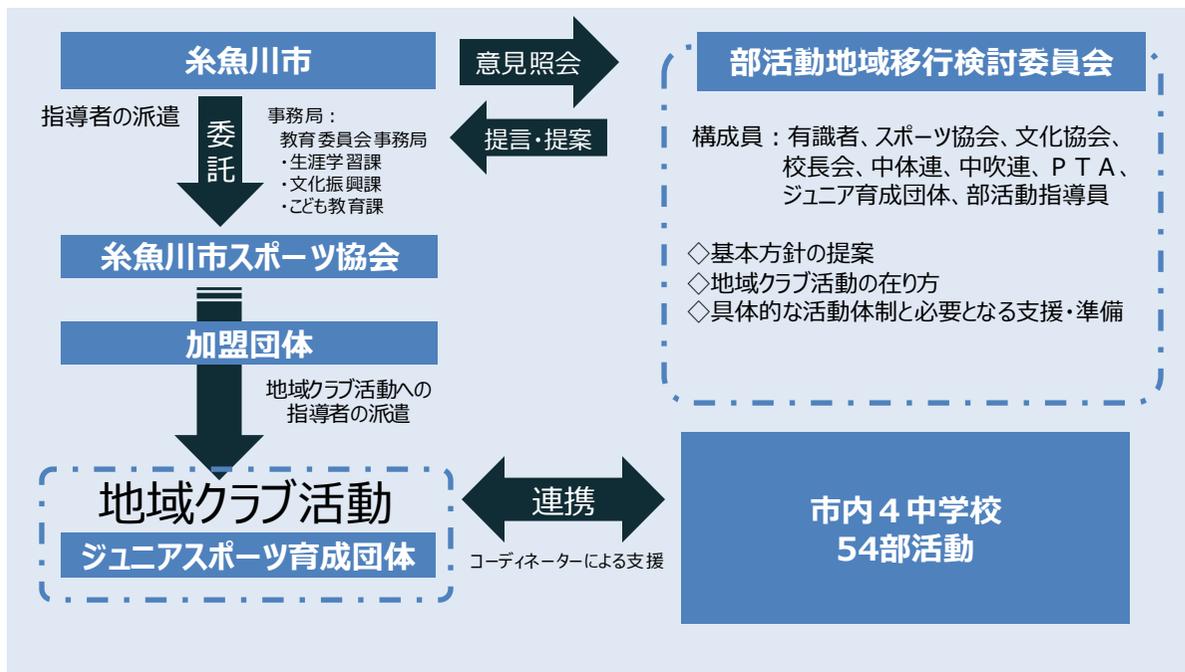
1. 部活動あり…「○」
 2. 特設部活動あり…「●」
 3. 平日・休日ともに移行済み…「*」
 4. 地域クラブの移行状況

… 令和5年度
 … 令和6年度(見込み)

2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼令和7年度末までの移行期における地域クラブ活動推進体制図



▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会（生涯学習課）**
 - 検討委員会企、画運営
 - 地域クラブ活動体制整備
 - スポーツ協会との協議と連絡調整
 - ジュニアスポーツ育成団体の支援と指導者の確保育成
- **教育委員会（文化振興課）**
 - 地域クラブ活動体制整備
 - 文化協会との協議と連絡調整
 - 文化芸術団体の支援と指導者の確保育成
- **教育委員会（子ども教育課）**
 - 市内4中学校の部活動方針と将来ビジョン決定
 - 地域クラブ活動との連携体制検討及び整備

▼スポーツ協会の役割分担

- **糸魚川市スポーツ協会**
 - 地域の指導者の確保育成
 - 地域クラブ活動や部活動への指導者の派遣

年間の事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討委員会	・目指す姿 広報									開催		
地域クラブ活動	・会員募集 ・とりまとめ	地域クラブ活動										委託対象外 活動
説明会 研修会	・説明会 (スポ協・学校)		・スポーツ 協会との感 段階		・学校説明 会		・研修会			教育懇談 会		地域クラブ活 動広報
部活動と地 域クラブ活動 のマッチング	・地域クラブ 活動募集 ・意向調査	地域クラブ活動体制づくり・コーディネート										・地域クラブ活 動実績報告
				・アンケート 調査	・学校への 情報提供							

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績①

①全体に関すること

中学校数	4校	実施した地域クラブ総数	17クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		4クラブ（4部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		13クラブ
全体の指導者数	74人	全体の運営スタッフ数	－人

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績②

②各クラブに関すること

令和6年度 地域スポーツクラブ活動リスト

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施曜日	時間帯	参加者	実施期間	活動場所	指導者	会費	大会参加方法
ラブオール I T O I G A W A	ジュニアスポーツ団体	バドミントン	140回	月・木 金・土	18:00～20:30 19:00～21:00 16:00～19:00	14名	通年	亀が丘体育館(月) 市民総合体育館(木・金) 糸魚川東小体育館(土)	5人	2,000円/月	クラブで参加 (中体連大会含む)
糸魚川市バドミントン協会 U15委員会(男子)	競技団体	バスケットボール (男子)	140回	月・水 金・土	18:30～20:30 19:00～20:30 9:00～12:00	18名	通年	市民総合体育館(月・水) 糸魚川高校体育館(金) 市内体育施設	5人	20,000円/年	クラブで参加 (中体連大会除く)
糸魚川市バドミントン協会 U15委員会(女子)	競技団体	バスケットボール (女子)	140回	月・水 金・土	18:30～20:30 19:00～20:30 9:00～12:00	15名	通年	市民総合体育館(月・水) 糸魚川高校体育館(金) 市内体育施設	5人	20,000円/年	クラブで参加 (中体連大会除く)
青海ジュニアソフトテニスクラブ	ジュニアスポーツ団体	ソフトテニス	140回	火・水・金 土	16:00～18:00 9:00～12:00	13名	通年	青海中テニスコート(平日) 名引山テニスコート(休日)	5人	2,000円/年	クラブで参加 (中体連大会含む)
青海ベースボールクラブ	ジュニアスポーツ団体	軟式野球	105回	木 土or日	18:30～20:45 9:00～12:30	20名	通年	青海総合グラウンド(平日) 青海中学校グラウンド(休日)	3人	20,000円/年	クラブで参加 (中体連大会除く)
糸魚川ヤングバレーボールクラブ	ジュニアスポーツ団体	バレーボール (男子)	105回	月 木 日	19:00～22:00 19:00～21:00 13:00～16:00	15名	通年	糸魚川中武道館(月) 亀が丘体育館(木・日)	3人	2,000円/月	クラブで参加 (中体連大会除く)
美山ベースボールクラブ	ジュニアスポーツ団体	軟式野球	40回	月 土	18:30～20:30 8:30～11:30	11名	通年	糸魚川中グラウンド	3人	500円/月	クラブで参加 (中体連大会除く)
糸魚川エクスプレスクラブ	ジュニアスポーツ団体	軟式野球	140回	火・水・金 土or日	18:00～19:00 8:30～11:30	19名	通年	糸魚川東中グラウンド	3人	3,000円/月	クラブで参加 (中体連大会除く)
糸魚川 F C U-15	ジュニアスポーツ団体	サッカー	105回	月・水 火 土	19:00～21:00 18:45～20:30 13:00～16:00	3名	通年	田沢小グラウンド(月) 糸魚川東グラウンド(火) 糸魚川中グラウンド(水) 須賀臨海公園(土)	11人	6,000円/月	クラブで参加 (中体連大会除く)
奴奈川会	ジュニアスポーツ団体	バレーボール (女子)	70回	月・木	19:00～21:00	11名	通年	糸魚川中武道館(月) 亀が丘体育館(木)	3人		クラブで参加 (中体連大会除く)
能生ジュニアバレーボールクラブ (男子)	ジュニアスポーツ団体	バレーボール (男子)	105回	火・金 日	18:30～20:30 8:00～12:00	11名	通年	能生中学校体育館	2人	3,000円/年	クラブで参加 (中体連大会除く)
能生ジュニアバレーボールクラブ (女子)	ジュニアスポーツ団体	バレーボール (女子)	105回	火・木 日	18:30～20:30 8:00～12:00	11名	通年	能生中学校体育館	2人	3,000円/年	クラブで参加 (中体連大会除く)
糸魚川フロンティアクラブ	ジュニアスポーツ団体	ソフトテニス	70回	土・日	18:00～21:00	29名	通年	糸魚川中学校体育館 または 美山テニスコート	5人	10,000円/年	クラブで参加 (中体連大会除く)
青海体操クラブ	ジュニアスポーツ団体	体操競技	140回	月・木 水 日	16:30～18:30 16:30～19:30 13:30～16:30	6名	通年	青海生涯学習センター	5人	週4日教室 3,000円/月 ※冷暖房費 4,000円/年(別) 週1日/ピレ 1,500円/月	クラブで参加 (中体連大会除く)
能生相撲教室	ジュニアスポーツ団体	相撲競技	105回	木 土・日	18:30～20:00 9:00～12:00	2名	通年	海洋高校相撲場	2人	2,000円/月程度 (随時)	クラブで参加 (中体連大会含む)
糸魚川市少年柔道教室	ジュニアスポーツ団体	柔道	70回	月・水	19:00～21:00	2名	通年	糸魚川白濁高校格闘技場 ※3月・4月は美山管理棟	2人	3,000円/年	クラブで参加 (中体連大会含む)
青海剣道クラブ	ジュニアスポーツ団体	剣道	70回	月・木	19:00～20:30	14名	通年	青海中講堂	10人	3,000円/年	クラブで参加 (中体連大会除く)

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績③

③その他、体験会やイベント等の開催実績

◆『地域移行だより』の発行

学校部活動地域移行だより No1 ～学校部活動から地域クラブ活動へ～

発行
糸魚川市教育委員会事務局
令和6年3月

少子化により生徒数が減少し、学校単位での練習や大会参加が困難になったり、競技経験のない先生が顧問になり、生徒も先生も苦心していることなどから、部活動の見直しが進められています。将来にわたって、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保するために、文部科学省は部活動改革を進め、中学校の部活動を段階的に地域に移行する考えを示しました。これを受けて、糸魚川市でも部活動の地域移行を見据えた準備を進めています。

部活動の地域移行検討委員会が設置されました

『糸魚川市立中学校部活動の地域移行に係る検討委員会』

上越教育大学の先生を委員長として、学校、スポーツ・文化芸術団体、PTAの代表者が集まり、糸魚川市における部活動と地域クラブ活動の目指す姿や、学校と地域の連携を進めるためにどのような取組が必要となるかなどについて、検討を進めています。

休日の部活動の地域移行は、令和8年度を目標としています。生徒のみならず、これまでどおり、活発に自分のやりたいことに取り組んでいけるように、必要な準備を進めています。

*** 検討委員会で協議したとこと ***

- 第1回(10月)：国・県の方針確認、市の取組、地域クラブ活動の目指す姿(基本方針)について
- 第2回(11月)：地域クラブ活動の目指す姿(基本方針)(案)について
部活動地域移行推進計画案の検討(補助事業関連)
種目別ミーティングの開催について
- 第3回(12月)：部活動地域移行推進計画案の検討(全体計画)
令和6年度部活動地域移行の取組と地域クラブ活動体制について
- 第4回(2月)：部活動地域移行推進計画案の検討(意見取りまとめ)
令和6年度部活動地域移行の取組と地域クラブ活動体制について
種目別ミーティングの実施状況確認・課題の整理
令和5年度検討委員会意見取りまとめ

地域移行の糸魚川市としての考え方

これまで『学校教育活動』として教員が運営・指導を担ってきた部活動を『社会教育活動』として地域ぐるみで運営・指導する『学校と連携して行う地域クラブ活動』に段階的に「移行」します。

まずは休日の部活動から優先的に取り組み、令和8年度を目標に休日の部活動は地域クラブ活動に移行することを目指します。

また、『地域クラブ活動』では、地域のスポーツ団体・文化芸術団体が指導・運営を担うことを想定していますが、当面の間、『学校部活動』も継続し、自校生徒の活動を地域と連携して支えていく体制も必要であると考えています。

『学校教育活動』から地域の『社会教育活動』へ 移行のイメージ

<学校部活動・地域連携部活動>

学校教育活動の一環 (学校教育法)	位置付け	学校と連携して行う 地域クラブ活動 (社会教育法)
<部活動>	移行	<地域クラブ活動>
教員・部活動指導員	<指導者>	地域の指導者(有償) (先生の兼職兼業も可)
当該中学校の生徒対象	<参加者>	地域の中学生が対象 (単独校～複数校)
部費等・保護者負担 学校で運営	<費用負担>	会費等・保護者負担 クラブで運営
学校で加入	<保険>	スポーツ安全保険など クラブ・個人で加入
学校単位(合同可)	<大会参加>	クラブ単位 ※中体連・中吹連に関する大会は各連盟に認められた場合に参加が可能

学校部活動の地域移行は、すぐにはいかず、時間もかかることから、以下のように取り組むこととします。

年度	学校部活動		地域クラブ活動	
	平日	休日	平日	休日
～R4	運営：学校 指導：先生	<地域連携部活動を併用> ・運営：学校 ・指導：地域の指導者 ※合同部活動体制の活用も	運営：地域 指導：地域の指導者	
R5・6・7	平日は継続	(休日は地域クラブ)		休日の活動の移行
R8～		(平日も地域クラブへ)		平日の活動の移行
R7～ (時期未定)				

◆『地域移行だより』の発行

地域	種目	クラブ名	活動場所	活動曜日・時間	
能生地域	バレーボール	能生ジュニアバレーボールクラブ(男子)	能生中アリーナ	火：18時30分～20時30分(男女) 木：18時30分～20時30分(女子) 金：18時30分～20時30分(男子) 日：18時00分～12時00分(男女)	
		能生ジュニアバレーボールクラブ(女子)			
糸魚川地域	軟式野球	糸魚川エクスプレスクラブ	糸魚川中グラウンド	火・水・金：18時00分～19時00分 土・日：9時30分～11時30分	
		美山ベースボールクラブ	糸魚川中グラウンド	月：18時30分～20時30分 土：9時30分～11時30分	
	バレーボール	糸魚川ヤングバレーボールクラブ(男子)	糸魚川中武道館 亀が丘体育館	月・木：19時00分～21時00分 日：13時00分～16時00分	
		奴奈川会(女子)	糸魚川中武道館 亀が丘体育館	月・木：19時00分～21時00分	
青海地域	ソフトテニス	糸魚川フロンティアクラブ	美山テニスコート ※雨天は糸中体育館	土・日：18時00分～21時00分	
	軟式野球	青海ベースボールクラブ	青海総合グラウンド 青中グラウンド	木：18時30分～20時30分 土・日：9時00分～12時30分	
				ソフトテニス	青海ジュニアソフトテニスクラブ
市内全域対象	バスケットボール	糸魚川市バスケットボール協会 U15 SPFRITSIO(男子)	市民総合体育館 糸魚川体育館 市内体育施設	月・水：18時30分～20時30分 金：19時00分～20時30分 土・日：9時00分～12時00分	
		糸魚川市バスケットボール協会 U15 SPFRITSIO(女子)			
	サッカー	糸魚川 FC U-15	糸魚川中グラウンド 須沢臨海公園(土)	※冬期は糸中体育館又は能生体育館	月：19時00分～21時00分 火：18時30分～20時30分 水：19時00分～21時00分 土：13時00分～16時00分
					バドミントン
	体操競技	青海体操クラブ	青海生涯学習センター 体育室	月・水・木：16時30分～18時30分 日：13時30分～16時30分	
	相撲競技	能生相撲教室	海洋高校相撲場	木：18時30分～20時00分 土・日：9時00分～11時30分	
	柔道	糸魚川少年柔道教室	白根高校柔道場	月・水：19時00分～21時00分	

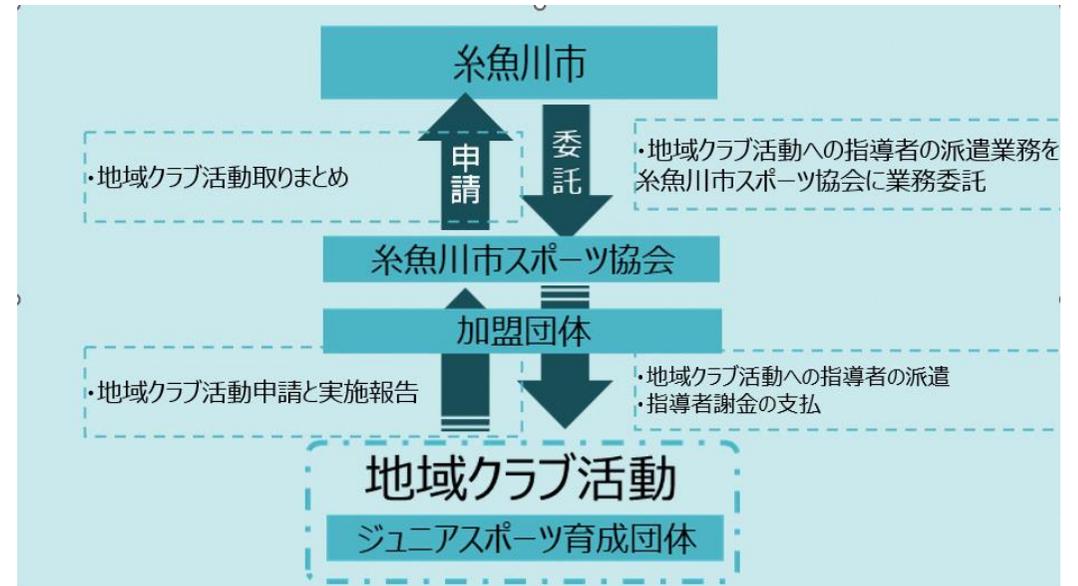
2.実証内容と成果

主な取組例

◆糸魚川市地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球、ソフトテニス、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、サッカー、体操、相撲、柔道、剣道
運営団体名	糸魚川市
期間と日数	期間・・・通年実施 日数・・・種目ごとに設定 70日～210日程度
指導者の主な属性	競技スポーツ団体指導者 教員
活動場所	市内社会体育施設、学校開放施設
主な移動手段	保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	12,000円～36,000円程度
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

◆運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



◆指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- ・指導者：実施団体が競技団体等と連携して確保
定期活動での指導・監督及び大会等の引率を行う。
- ・運営スタッフ（実施団体）：
主に生徒の保護者が担う（会場確保、経理、庶務等）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ◆総括コーディネーターの配置
1名
- ◆地域コーディネーターの配置
1名

基本方針・推進計画の方向性を踏まえ、各実施主体の活動体制や活動内容などについて連絡調整を図り、関係団体間の連携強化を図る。

取組の成果

- ◆学校訪問、部活動訪問により部活動における地域連携のニーズの掘起しを進めた結果、令和6年度中に6種目14部活動が地域クラブ活動と連携した活動を開始した。

(R6時点 地域クラブ活動 10種目17クラブ⇒22部活動に関与)

- ◆地域連携型部活動の調整・推進も図り、市内4中学校を対象とした月1回から4回の合同練習体制の整備がすすめられた。

(陸上競技、剣道)

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ◆教職員への説明会を実施。学校部活動における地域クラブとの連携の在り方など、考え方のすり合わせが図られた。

(市内4中学校訪問・説明)

- ◆学校に意向調査を実施。地域移行に向けた学校部活動単位の意思確認が進んだ。(すべての部活動が地域連携・地域移行を希望)

今後の課題と対応方針

- ◆部活動と社会教育団体との連携調整に引き続き取り組むとともに、受け皿となる組織体制がない種目の体制づくりを進める必要がある。
- ◆令和8年度以降の休日の部活動の体制について、学校及び地域クラブと活動調整を進める必要がある

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

- ◆部活動指導員配置事業の活用
- ◆地域クラブ活動への地域の指導者の配置
- ◆指導者資格取得への支援（市単独補助事業）
- ◆部活動指導員、ジュニア指導者研修会の開催

地域指導者の登録人数

74名

地域指導者の構成

- ・教員 6名
- ・競技団体の指導者 68名
（内退職教員7名）
- ・有資格指導者 41名

種目

バスケ、サッカー、野球、体操、バレー
ソフトテニス、剣道、柔道、相撲

指導者資格取得

- ・5種目 10名
- バスケットボール、少年野球、ソフトボール
- 綱引、バドミントン

今後の課題と対応方針

◆多くの地域の指導者から協力を得て活動機会の提供面では成果がみられているものの指導者側からは、部活動の教育的意義の継承など、地域クラブ活動において求められる役割や資質などについて、不安の声も寄せられている。

市内の地域クラブ活動における研修制度の整備、研修内容の充実化などを進めていく必要がある。

◆持続可能な指導体制づくりも大きな課題となっている。
現役世代の指導者確保のため、地域の企業などにも理解と協力を得ていく必要がある。

取組の成果

- ◆部活動指導員配置
→30部活動42名
- ◆地域クラブ活動への指導者の派遣
→17クラブ・74名)
- ◆指導者資格取得補助
→公認コーチ資格等 取得10名
- ◆研修会の開催
→参加25名

指導者研修の内容

- ◆10月27日（日）
- ◆12種目 20名参加
- ・糸魚川市の基本方針
- ・救急救命講習
- ・中学生期の生徒理解
- ・スポーツインテグリティ
- ・コーチング理論

参加者の声

- ・1つ1つの講義時間をもう少し長く取って欲しい。
- ・昭和の人間が平成・令和の子ども達を理解した上で指導を心がけないと、指導者と子ども達の思いや目標に大きな違いが生じ、結果として良い育成にならない。
- ・インテグリティの理解が深まりました。
- ・研修を受けることで資格や認定などがもらえる講義も有りましたら是非参加したいです。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

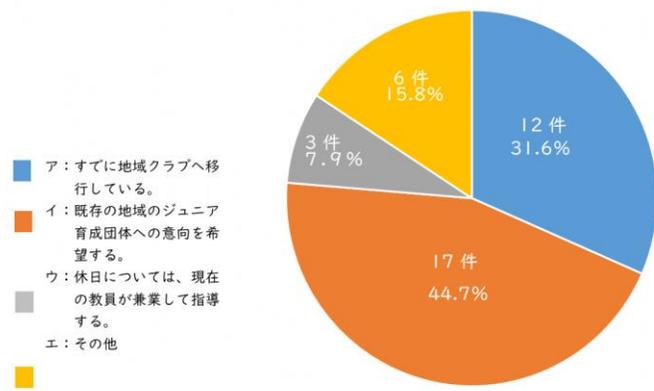
- ◆部活動地域移行検討委員会の開催
- ◆学校説明会の開催
(教職員向け)
- ◆学校の意向調査
- ◆スポーツ協会、ジュニアスポーツ育成団体への周知啓発と意向調査

取組の成果

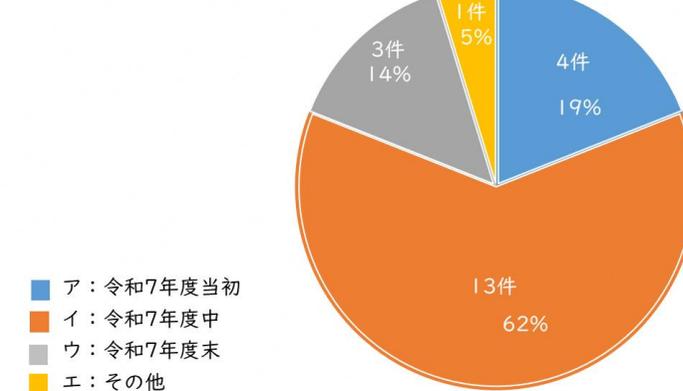
- ◆検討委員会の開催
 - ➔糸魚川市における地域クラブの認定及び今後の支援について意見とりまとめ
- ◆学校説明会及び意向調査の実施
 - ➔全ての運動部活動から地域クラブ活動との連携の意向が示された。
- ◆スポーツ協会を通じたジュニアスポーツ育成団体への働きかけと意向調査の実施
 - ➔スポーツ協会への説明と協力要請。
市内51のジュニアスポーツ育成団体のうち17団体が地域クラブ活動を開始

学校の意向調査結果

1 現時点での休日の活動の意向



2 現時点での休日の移行時期



今後の課題と対応方針

- ◆学校と地域クラブの担い手となるスポーツ・文化芸術団体が連絡体制づくりが課題となっている。
地域学校協同活動との協力なども進め、きめ細やかな活動調整、連絡調整に取り組む。
- ◆糸魚川市においては平日の部活動も徐々になが縮小化が進む見通しとなっている。
広く社会教育団体の協力を得ながら様々なニーズに応じた中学生の活動機会の提供を進める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

◆学校単位での部活動の維持が困難となってきていることを踏まえ、スポーツ協会及び文化協会を通じた種目ごとの学校区・市域を越えた合同活動体制等の実施促進

◆スポーツ協会・競技団体の組織的なバックアップ体制による広域的な指導者の確保

取組の成果

◆学校区・市域を超えた合同活動

- ・定期的な合同練習を競技団体が協力して実施 ➡〔陸上競技、剣道〕
- ・県内他市の相撲クラブと定期的な合同稽古を実施（稽古場所の確保・拠点化） ➡〔相撲〕

◆広域的な指導者の確保

➡スポーツ協会加盟団体35団体の協力体制

今後の課題と対応方針

◆生徒数の減少から、学校単位で部活動（地域クラブ活動）を継続していくことが困難となりつつある。
また、地域クラブの担い手となるジュニアスポーツ育成団体でも会員の減少により活動の集約化等が進んでいる。
スポーツ協会等連携し、学校と地域が一体となって中学生の活動機会を支えていく必要がある。

◆地域クラブの指導者や部活動指導員の確保に際し、関係団体の組織的なバックアップが得られている。継続的で安定した地域の支援体制づくりのため、スポーツ協会と連携した支援体制づくりを進める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

- ◆部活動種目の地域連携体制の強化
- ◆指導者研修の開催
- ◆指導者資格取得への支援

取組の成果

- ◆部活動種目の地域連携体制の強化
 - ➡部活動とスポーツ協会、ジュニアスポーツ育成団体との連携を促し、平日も含め、地域クラブ活動の機会が増加した。（地域の協力・専門指導者の指導・教員の負担軽減）
- ◆指導者研修の開催
 - ➡指導者研修を開催し、質の高い地域クラブ活動の提供ができる指導体制の基礎づくりを進めた。また、研修機会を通じ、指導者間の種目を超えた横のつながりも見られる。
- ◆指導者資格取得への支援
 - ➡有資格指導者の増加
 - ・R5年度8名
 - ・R6年度10名

今後の課題と対応方針

- ◆地域クラブ活動の指導者に求められる資質や資格については、情報収集と考え方の整理を進めている。
当市には15種目の部活動種目に対し、スポーツ協会加盟団体は35団体、ジュニアスポーツ育成団体は51団体あることから、地域の社会教育団体から協力を得てJSPO等の指導者資格取得を促進し、充実した指導体制づくりを進める。
- ◆部活動種目以外のニーズの掘り起こしは課題となっている。体験事業などを通じて新たな種目への取り組みも検討を進めたい。
- ◆多志向（競技志向・楽しみ志向 など）の幅広いニーズにも対応した活動環境の整備を進める必要がある。
当市の地域クラブ活動団体はすべて競技団体の参加団体となっている。レクリエーション的志向の生徒の受け皿の確保も必要となっている。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

- ◆各種活動支援の活用
- ◆実証事業を活用した指導者配置経費の支援
- ◆糸魚川市スポーツ協会ジュニアスポーツ育成団体補助金の活用
- ◆施設使用料等減免措置
- ◆中体連主催大会等への参加費用支援

地域クラブに係る経費

■ランニングコストの分析

地域クラブ活動はスポーツ協会傘下のジュニアスポーツ育成団体の活動がベースとなっており、競技団体所属の指導者によるボランティア体制で活動が進められ、運営費・活動費は受益者負担で賄われてきている。今後は指導者配置にかかる経費の負担が必要となるため、競技団体、保護者、市で調整と検討が必要。

- ・これまで…ジュニアスポーツ育成団体活動 = ボランティア活動スタイル → [すべて受益者負担]
- ・これから…地域クラブ活動 = 適正な指導者配置経費を支弁 → [新たな経費の負担を調整]

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

<経費の条件>

・活動時間	休日 3 時間×35週 平日2時間× 3 回×35週 合計315時間	・そのほか活動費	→概算8,000,000円
・指導者	29人 (17クラブ)	経費合計	11,045,000円
・指導者謝金	3,045,000円 (R6)		

<受益者負担>

- ・会員 約236人
- ・一人当たり経費 約46,800円/年
- ・一人当たり会費負担 約20,700円/年
- 全体経費の44.2%を受益者が負担

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

- ◆実証事業を活用した指導者配置経費の支援
➡17クラブ29名分の指導者配置経費の支援を実施。
合計3,045時間分
- ◆糸魚川市スポーツ協会ジュニアスポーツ育成団体補助金の活用
➡糸魚川市スポーツ協会（市）単独補助<継続事業> 17クラブ
ジュニアスポーツ育成団体（中学生対象）の活動体制に応じた定額補助。運営費を補助対象とするもの。
- ◆施設使用料等減免措置
➡ジュニアスポーツ育成団体への施設使用料減免規定の適用
社会体育施設及び学校開放施設の使用料を減免した（空調利用除く）
- ◆中体連主催大会等への参加費用支援
➡中体連大会（全国中学校総合体育大会関連、新人戦関連）参加費用を市が負担。

今後の課題と対応方針

◆これまでジュニア育成団体の活動（地域クラブ活動）については、施設の使用料減免やスポーツ協会を通じた活動費の助成などにより、会員の会費で全て運営されてきている。
これまではボランティア活動がベースの運営であり、人件費や指導料などの負担が新たに必要となり、その財源確保と受益者負担割合の検討が必要となっている。

◆令和5年度・6年度は実証事業を活用し、指導者配置経費を市が負担してきたが、活動にかかる経費全体を把握し、指導者謝金の条件と、それに伴い必要となる受益者負担の在り方について検討を進める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



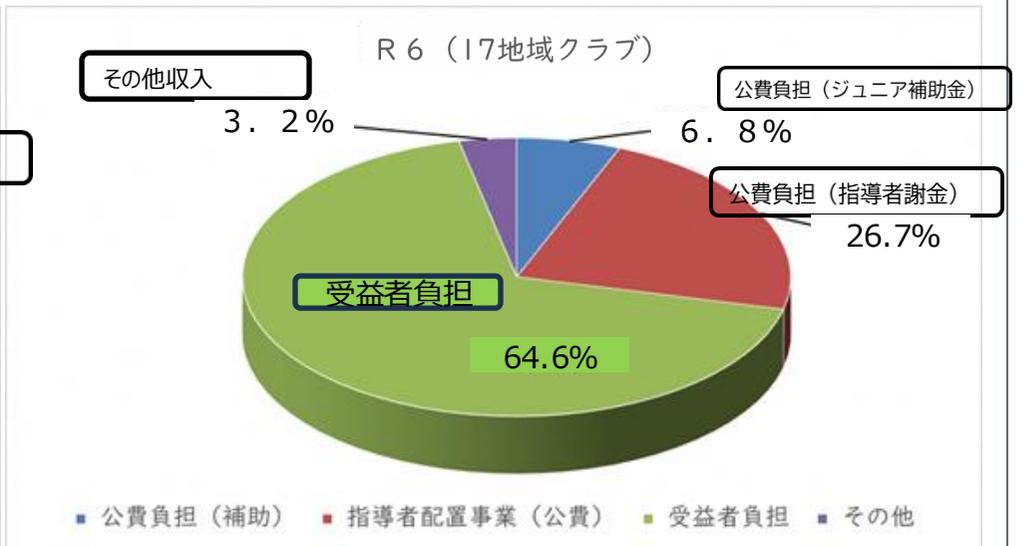
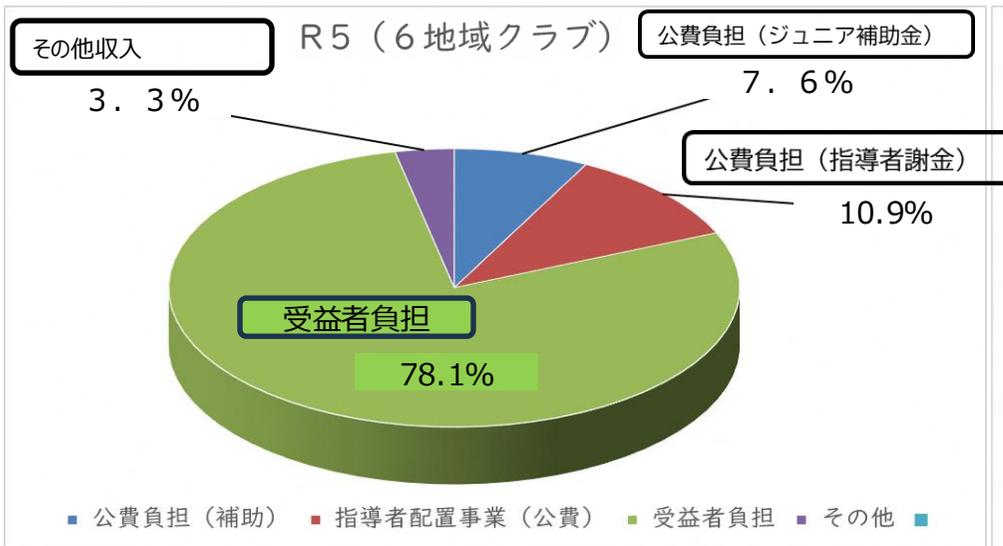
取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等③

資料

◆活動費の負担割合（財源構造）

収入別	R 5（6地域クラブ）	R 6（17地域クラブ）
公費負担（補助）	7.6%	6.1%
指導者配置事業（公費）	10.9%	22.6%
受益者負担	78.1%	67.9%
その他	3.3%	3.4%



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

- ◆地域クラブ活動の学校施設利用
 - ・放課後（部活動の時間）の学校施設の活用
 - ・地域クラブ活動への学校開放に必要な環境整備

取組の成果

- ◆地域クラブ活動の学校施設利用
 - ・放課後（部活動の時間）の学校施設の活用
 - ➡部活動顧問と受け皿となった地域クラブ活動指導者の競技により、空いた部活動時間の学校施設利用が進められた。
（青海ジュニアソフトテニス部、能生ジュニアバレーボールクラブ）
 - ・地域クラブ活動への学校開放に必要な環境整備
 - ➡体育施設の定期利用調整会議で調整。学校開放施設の安定的な利用が確保された。
 - ・その他
 - ➡学校備品の活用について申し合わせ

今後の課題と対応方針

新たに地域クラブ活動を行う場合の活動場所の確保が大きな課題となっている。
学校部活動が使用していた時間帯の学校施設を地域クラブが活動できるよう、利用調整の仕組みづくりが必要となっている。

学校開放における施設・備品の地域クラブ活動での利用は、徐々に学校との調整が図られてきている。
今後は部活動が縮小してきたときの学校施設、学校備品の更新・整備について、役割分担を整理しておく必要がある。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

糸魚川市では、糸魚川市スポーツ協会加盟団体傘下のジュニアスポーツ育成団体が主な地域クラブ活動の受け皿団体となっており、令和6年度で合計17クラブが活動を開始している。

17クラブは全て、受益者の会費負担により運営されており、指導は競技団体所属の指導者が無償で行っている。

部活動15種目中、10種目で地域クラブ活動が開始されており、生徒の活動機会の確保は進展が見られてきた。

今後は、持続可能な運営体制の構築を目指し、地域クラブ（実施団体）が連携した地域クラブの運営組織体制の整備について検討を進める必要があると考える。

●成果の評価

◆地域クラブ 17クラブについて

- ・既存のジュニアスポーツ育成団体が中学生・部活動を受け入れ
- ・競技団体主催・競技志向色が強めの活動
- ・学校部活動との活動調整、役割分担がまだまだ不足
- ➡部活動顧問・学校と地域クラブの連絡調整体制の充実が必要

◆地域クラブの運営体制について

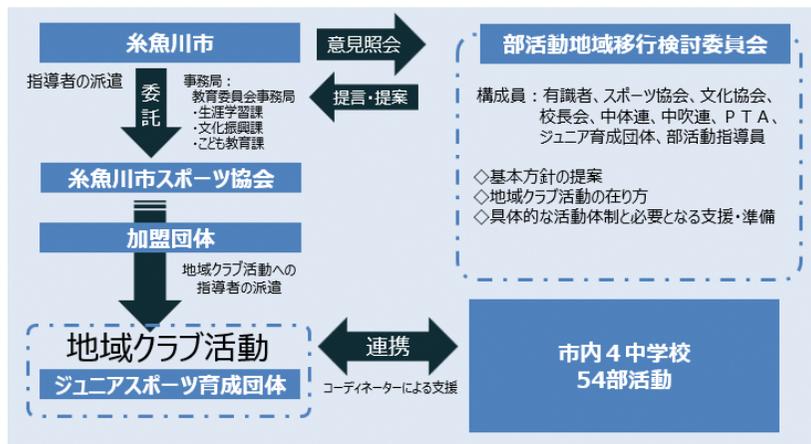
- ・20年続く糸魚川市のジュニアスポーツ育成団体の活動が基礎となっており安定感はある。
- ・指導者経費の捻出、運営費の平準化のため、地域クラブをまとめて運営する組織体制づくりについて検討を進める必要がある。

●今後に向けて

現在、糸魚川市で活動する15種目の部活動すべての受け皿体制整備を進めていく。

また、部活動に所属しない生徒、地域クラブには所属しない生徒のニーズを把握し、より多くの生徒に活動機会が提供できる地域クラブ活動作りについて、さらなる取り組み・検討を進めたい。

多様な活動機会づくりにおいては、中学生の声を聞き、生徒自身が考え、地域クラブを作ることに取り組みたい。



2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー

- ・学校、中体連事務局、生徒、保護者
- ・スポーツ協会、競技団体、部活動指導員
- ・市、教育委員会、コーディネーター
- ・有識者（アドバイザー）

●経過

令和4年度に部活動指導員制度の活用により、指導者の確保と地域連携活動を開始した。

その後、部活動改革の考えが示されてきたことにより、糸魚川市における部活動の地域移行の方針と目指すべき姿の検討を行い、令和6年3月に考えがまとまったもの。

ここでは、まずは休日から学校で維持が困難となってきた部活動を地域が連携して支えることで、中学生の活動機会の維持・発展を目指すこととされている。

そのため、教育委員会では、既存の地域のジュニアスポーツ育成団体に要請し、部活動との連携、中学生の受け入れについて調整を進め、令和5年度に6団体、令和6年度に17団体による地域クラブ活動が開始されている。

●実施にあたって生じた課題

糸魚川市スポーツ協会のジュニアスポーツ育成団体活動支援事業は平成18年から続く取り組みで、市内のジュニアスポーツ育成団体の活動は活発で、指導体制も整っている。

運営・活動体制は、会員の会費で賄う自主自立した体制であるが、指導体制は、競技団体所属の指導者が無償で担ってきている。

今後、ジュニアスポーツ育成団体の地域クラブ化を進めていくにあたっては、指導者の継続的な確保のためにも指導者処遇を見直していく必要がある。

指導者謝金の在り方と受益者負担について、協議と調整が必要になっている。

また、ひとり一人の負担に種目ごとに差が生じないように、地域クラブを総括して運営する組織体制づくりも検討が必要と捉えている。

●実施内容、工夫した点等

- ・部活動と保護者、競技団体によるマッチング（活動調整）
- ・小中学校への地域クラブの紹介